

三重県の文化財保護

平成29年度



2019.3

三重県教育委員会

例 言

- 1 本書は、三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課が平成 29 年度に実施した文化財保護事業をまとめたものである。
- 2 国史跡齋宮跡の発掘調査の詳細については、齋宮歴史博物館が年報として報告しているので、別途参照されたい。
- 3 市町指定文化財指定・解除及び文化財保護強調週間行事などは、市町教育委員会からの報告をもとに記載した。
- 4 本書記載の市町名・組織名は、各申請書等の記載名称を基本としている。

目 次

I	文化財の指定・登録	
1	県指定文化財の指定	1
2	県指定文化財の解除	1
3	国指定文化財の指定等	8
4	市町指定文化財の指定等	13
5	三重県文化財保護審議会	14
II	県実施の調査・保護事業	
1	特天 カモシカ 天然記念物食害対策事業	15
2	世界に誇る三重の文化財記録事業	16
3	世界遺産熊野古道保存管理事業	16
4	史 県内遺跡 発掘調査等事業	18
5	県内埋蔵文化財 地域の特色ある埋蔵文化財活用事業	18
6	重文 三重県齋宮跡出土品 美術工芸品保存修理事業	18
III	文化財補助事業等	
1	国庫補助事業	19
2	県費補助事業	29
3	民間団体による助成	32
IV	文化財の管理・普及	
1	登録審査	33
2	文化財の管理	33
3	国・県指定文化財に関する諸届等	43
4	文化財の公開・普及	47

【表紙 専修寺御影堂・如来堂】
【裏表紙 三重県内国・県指定等文化財数】

I 文化財の指定・登録

1 県指定文化財の指定

(1) 建造物

建第 53 号 そうとくじ そうとう 宗徳寺の層塔

1 基

【告 示】三重県教育委員会告示第 4 号
(H30.2.27 発行三重県教育公報第 1748 号)

【指定日】平成 30 年 2 月 16 日

【所在地】亀山市ふたお両尾町字原尾わらび121-2

【所有者】宗教法人 宗徳寺

【法 量】総高 223 cm

【年 代】鎌倉時代

《特徴・内容》

亀山市両尾町に所在する宗徳寺裏山の傾斜地（土地所有者：両尾町原尾自治会）に建つ。もとは付近のひさかわ日佐河神社（両尾町原尾 212-1）に所在したと伝えられている。

現高 223 cmの三重塔で、石材は花崗岩である。相輪の上部を欠くが、他はほぼ完形である。基礎は高さ 34 cm、上幅 71 cmで、中央付近が膨らむ形状である。初層軸部（塔身）は高さ 55.0 cm、幅 43.0 cmで縦長である。側面には四面とも、平底の浅い尖頭形光背を彫り、その中に浮彫線で如来坐像を表現するが、像容はほぼ同じで、四方仏の特定はできない。坐像の下には線刻で蓮華座が彫られる。

初層屋根と二層軸部、二層屋根と三層軸部は一石造りである。ともに屋根裏面は軒先に向けて膨らみを持ち、屋根上面の勾配は緩く、いわゆる「起屋根」である。屋根の四隅はわずかに高く造り、隅棟を表現している。初層屋根は初層軸部上に乗るだけであるが、二層屋根裏には二層軸部をはめ込む、深さ 1.5 cmの彫込がある。法量は、初層屋根高 20.2 cm、同幅 65.7 cm、二層軸部高 11.0 cm、同幅 28.9 cm、二層屋根高 14.6 cm、同幅 60.0 cm、三層軸部高 12.0 cm、同幅 31.0 cmである。

三層目屋根は他の屋根と比較すると勾配が強い。屋根の四隅には隅棟の表現がある。屋根の下面には軸部をはめ込む彫込がある。法量は、高 30.1 cm、幅 55.2 cmである。

相輪は先端を欠き、九輪部分のくりん下四輪が残る。現高 57.0 cm、伏鉢部分の最大径は 24.5 cm である。伏鉢部分が大きく膨らみを見せるのが特徴である。



《評価》

本塔の当初形態については、三重塔ではなく五重塔ではないかという説（川勝政太郎『日本石造美術辞典』東京堂出版 1978 年）が出されている。しかし、三重、五重にかかわらず、初層軸部の高さ、屋根の勾配、隅棟の膨らみ、四方仏の彫成方法などから、鎌倉時代前期頃の特徴を備えている。石造層塔として三重県最古の遺品となるばかりか、全国的にも希少な文化財であり、硬質石材の加工技術や石造層塔の伝播を窺うことができる資料として高い価値を持つものであることから、県の有形文化財（建造物）として指定し、今後も万全の保護を図る必要がある。

(2) 書跡

書第 67 号 こんしきんぎんじせんじゆせんげんたらにきよう 紺紙金銀字千手千眼陀羅尼經
つけたり きようぼこ
附 經箱 一合

1 卷



【告 示】三重県教育委員会告示第 4 号（H30.2.27 発行三重県教育公報第 1748 号）

【指定日】平成 30 年 2 月 16 日

【所在地】津市大門 32-19

【所有者】大宝院

【法量・品質・形状】25.2 cm×714.8 cm（紺紙 13 枚継・見返し共）

経箱：台指し箱 外箱（杉白木） 31.2 cm×53.7 cm×11.4 cm

【年 代】平安時代

《内容》

当資料は、津市大門に所在する大宝院が所蔵する「紺紙金銀字千手千眼陀羅尼經」1 卷である。「千手千眼陀羅尼經」は「千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼經」といい、千手觀音についての經典である。

大宝院は、寺伝によれば「ろくだいいん六大院」を前身とする。文禄年間頃の住持であった長堯ちようぎよう あざなの字が「大宝坊」であったため、「六大院」と「大宝院」が併称されるようになったという。当初の六大院は、あんきぐんくぼた菟芸郡窪田（現在の津市大里窪田町）に境内を有していたが、その後の兵火で衰退し、天正 8 年(1580)におだのぶかね織田信包によって現在地である觀音寺境内に再興された、とされている。

当資料は、紺色に染めた紙を用い、金泥と銀泥で一行ずつ交互に経文を書写した紺紙金銀交書経こんしきんぎんこうしよきょうで、銀泥で界線を施し、経文を金銀泥1行17字で書写する。見返しには同じく紺紙に金銀泥で釈迦説法図を描く。表紙は宝たからづく尽もんきんちやいろどんすし文金茶色緞子表紙、軸頭には金銅製撥型金具をつける。経を納める経箱底の墨書から、本巻は宝暦二年(1752)、大宝院(六大院)18代住職長弁上人の代に補修されている。現在の表紙はこの補修時のものと思われるが、外題げだいに使われている題簽だいせんは、原装の表紙から切り取って貼ったものである可能性がある。また、見返し絵の両脇及び経典巻首の1行分が補修時に切り取られているが、補修時の後補表紙を除いては本紙・見返し・書軸共によく原装をとどめている。

紺紙に金銀字の交書で書写された経典には、平安時代後期の著名なものとして、奥州平泉の藤原清衡ふじわらきよひら(1056~1128)発願ほつがんの一切経いっさいきょう「中尊寺経ちゆうそんじきょう」がある。平泉の中尊寺に伝来したもののだが、現在は高野山金剛峯寺に4,297巻、観心寺に166巻、中尊寺に15巻のほか、各地に分蔵される。

当資料は、この「中尊寺経」と料紙の高さ、界高かいこうや幅が近似していることや、一方で一切経である「中尊寺経」の現在確認されているものの中に「千手千眼陀羅尼経」は含まれていないこと等から、「中尊寺経」の一つと判断される。

<附 経箱>

現在、本陀羅尼経が収められている経箱は、杉白木の外箱一合と、杉黒漆の内箱2個からなる。外箱は、「紺紙金字妙法蓮華経」8巻(津市指定文化財)と共用であるが、本陀羅尼経と妙法蓮華経は、別の内箱に納められている。

外箱の底には「法華経 全部」「千手陀羅尼 一軸」の記名の上、「宝暦二壬申年中(中略)開帳水鏡天神之砌修補之畢 勢州津国府 六大院現住長弁上人」の墨書がある。本経が、妙法蓮華経とともに宝暦二年以前に六大院(大宝院)の所蔵となっていたこと、宝暦二年の菅原道真八百五十遠忌に水鏡天神の御開帳とあわせ、両経が修理されたという来歴を示す資料である。

《評価》

当資料は、紺紙に金銀交書という書写様式だけでなく、紺紙の銀泥界の界高・界巾、また見返し絵の様式共に、いわゆる平安末期の代表的な一切経である「中尊寺経」と同一の形態・様式である。同時に、現在知られている「中尊寺経」の中に「千手千眼陀羅尼経」はなく、当資料は「中尊寺経」中の1巻と認定される。

既に県指定文化財に指定されている「紺紙金銀阿惟越致遮経こんしきんぎんあゆいおっちしやきょう 卷下(中尊寺経)」(桑名市徳連寺所有)とも遜色なく、三重県において学術的・文化史的に重要な資料である。

(5)考古資料

考第 32 号	てんぱくいせきしゅつどひん 天白遺跡出土品	2,213 点
一、土器 1,686 点	一、土偶 66 点	一、その他の土製品 23 点
一、石器 376 点	一、石製品 61 点	一、辰砂原石 1 点



【告 示】三重県教育委員会告示第 4 号（H30.2.27 発行三重県教育公報第 1748 号）

【指定日】平成 30 年 2 月 16 日

【所在地】三重県多気郡明和町竹川 503 三重県埋蔵文化財センター

【所有者】三重県

【年 代】縄文時代

《内容》

1. 遺跡の概要

天白遺跡は、三重県松阪市嬉野釜生田町に所在する縄文時代から中世の遺跡である。この遺跡では、平成 4 年度に県営ほ場整備事業に先立って、5,490 m²について発掘調査が行われた結果、縄文時代後期から晩期の配石遺構 30 基、埋設土器 26 基、焼土面 35 箇所等が検出された。配石遺構は東日本では数多く見られるものの、西日本では希少であることから、天

白遺跡は平成 12 年 4 月 11 日に国の史跡に指定された。

縄文時代の遺構・遺物は、弥生時代の砂層に覆われていたため、他の時代の遺構・遺物と明確に分離できる状況であった。出土品は土器、土偶等の土製品、石器、石棒等の石製品、辰砂原石等、多岐にわたり、出土量も膨大であり、計 3.2 トンに及ぶ。

2. 出土品の特徴

出土品は土器 1,686 点（深鉢、鉢、壺、注口土器、皿、釣手土器、舟形土器、ミニチュア土器等）、土偶 66 点、その他の土製品 23 点（勾玉、丸玉、管玉、円板等）、石器 376 点（石鏃、打欠石錘、切目石錘、有溝石錘、打製石斧、磨製石斧、台石、石皿、敲石、磨石、石錐、石匙、削器、楔形石器、鑿状石器、有溝砥石、砥石、軽石製石器、礫器、部分磨製石器等）、石製品 61 点（岩偶、岩版、線刻礫、石棒、石刀、石剣、独鈷状石製品、球状石製品、小玉、垂飾等）、辰砂原石 1 点の合計 2,213 点の多様な種類で構成される。

①縄文土器

後期から晩期の土器が出土している。西日本に分布する一乗寺 K 式、元住吉山 I 式、元住吉山 II 式、宮滝式、滋賀里 I 式、滋賀里 II 式に比定される土器を主体とする。これらの土器から、天白遺跡が汎西日本的土器圏に含まれること、その東端近くに位置することがわかる。

西日本的な土器は、膨大かつ多様な種類をそろえ、完形品に復元できるものも多い。一般に、西日本の遺跡では土器の出土量は多くはなく、完形品に復元できるものも少ない。その点で、天白遺跡出土の土器は該期の土器型式内容を豊かに示すものといえ、西日本を代表する土器群であると評価できる。

さらに、東北地方の瘤付土器や関東地方の加曾利 B 式をはじめとして、中部高地、北陸地方の特徴をもつ土器が出土している。特に瘤付土器は、天白遺跡が列島最西端での出土例であり、その資料的価値は極めて高い。これらの土器は、縄文時代後期から晩期における広域の交流の実態を明確に示すものであり、検出された配石遺構等を考え合わせると、天白遺跡が東西文化の結節点だったと評価できる。

また、ミニチュア土器は祭祀的活動が行われていたことを推測させるもので、天白遺跡の性格の一端を示す点といえる。

②土偶、土製品

土偶や土製玉類等がある。土偶は「分銅型」と「ひとがた」に大別され、前者は西日本在地のものである。後者は東日本に系譜を求めることができ、土偶においても東日本との交流を推測させる。

③石器

石器は点数、種類ともに豊かであり、未成品や製作工程で生じる剥片を確認できることから、石器製作が盛んに行われていたことがわかる。石鏃等の素材として、大阪府、奈良県境

に位置する二上山産のサヌカイト、岐阜県産の下呂石が多く含まれており、広域の交易、交流を示している。

④石製品

岩偶、石棒、石刀、石剣等があり、いずれも東日本との交流を示すものである。石棒のうちには、研磨が丁寧で、柄部に装飾を施した優品もみられる。

これらの石製品や土偶等の土製品、ミニチュア土器は点数、種類ともに豊かであり、当時の精神文化を探る上で貴重である。天白遺跡での祭祀関係遺物の点数、種類は、同時期の県内遺跡と比較して突出しており、特筆される。

⑤赤色顔料付着遺物等

辰砂原石1点、赤色顔料が付着した敲石、磨石が出土している。これらは、遺跡に近い中央構造線沿いに産出する辰砂を用いて水銀朱を生産していたことを示し、朱を媒介とした交易が想定される。

《評価》

天白遺跡の出土品は、三重県の縄文時代後期から晩期を代表するもので、当時の生活・生業、精神文化、広域にわたる交流、朱を媒介とした交易等をよく示す。当県を特徴づける遺物の内容もきわめて豊かであるとともに、天白遺跡が該期における東西文化の結節点として大きな役割を果たしたことも示す。これらの点から、天白遺跡出土品は極めて貴重であり、その学術的価値も高いといえる。

2 県指定文化財の解除

種別	名称	保持団体	解除日	理由
無形民俗文化財	勝手神社の神事踊	勝手神社神事踊保存会	H30.3.8	国指定のため

3 国指定等文化財の指定等

(1) 国宝の指定

【建造物】 専修寺御影堂

1 棟

附 宮殿 一基、旧獅子口 一組

指 定 日：平成 29 年 11 月 29 日

所 在 地：津市一身田町 2819

所 有 者：宗教法人 専修寺

建設年代：寛文 6 年（1666）

概 要： 専修寺は、津市一身田町に所在する真宗高田派の本山寺院である。13 世紀前半頃に現在の栃木県真岡市高田で創建され、

15 世紀後半頃に現在地へ移ったとされている。堂宇は度重なる火災で焼失したが、万治元年(1658)に津藩主藤堂家からの土地の寄進による寺域拡大に伴い、次第に諸堂が整えられていった。広大な境内には、御影堂、如来堂のほか、宗祖親鸞を含む歴代上人の廟所や拜堂からなる御廟や、山門、唐門、鐘楼等の歴史的建造物が現在まで良好に保存されている。

御影堂は、宗祖親鸞及び歴代上人を祀る堂で、寛文 6 年(1666)には概ね完成したと見られる。和様を基調とした入母屋造の建造物で、国内にある近世寺院建築のなかで屈指の平面規模を有する。当時の建築・装飾技術を駆使し、多彩で華麗な大空間を形成している。また、床面の高低や軸部の構成等により、各所の空間秩序が表現されている。御影堂は、近世における仏堂の大型化・多様化の指標となる大規模建築として、日本の文化史上、極めて高い意義を有した建造物である。



【建造物】 専修寺如来堂

1 棟

附 宮殿 一基

「如来堂御建立録」 一冊、「御本山阿弥陀堂御上棟儀式御鋸物」 一枚

指 定 日：平成 29 年 11 月 29 日

所 在 地：津市一身田町 2819

所 有 者：宗教法人 専修寺

建設年代：寛延元年（1748）

概 要： 如来堂は御影堂（前出）の西に位置し、本寺の本尊である阿弥陀如来立像を安置する。この堂の建立は享保 4 年（1719）に発願され、寛保 3 年(1743)に柱立、延享元年(1744)に上棟、同 5 年（寛延元年、1748）に遷仏供養が行われた。一重裳階付、入母屋造で、外観は本格的な禅宗様裳階付形式である。近世における禅宗様二重屋根の仏堂としては現存最大級の平面規模である。身舎の側廻りは、外部からの視角効果を意識し、整然とした詰組と巧みな彫刻が施され、重厚な屋根とともに力強い造形となっている。如来堂は、近世に進展した大規模木造建築技術の粋が最大限に表現されており、日本における近世寺院建築の到達点を示すものとして、文化史的な意義が極めて高いものである。



(2) 重要無形民俗文化財の指定

【民俗芸能】 勝手神社の神事踊

指 定 日：平成 30 年 3 月 8 日

所 在 地：伊賀市山畑

保護団体：勝手神社神事踊保存会

概 要： 三重県伊賀地域に伝わる太鼓踊りは、胸に鞆鼓という長胴の締め太鼓を付けることから「かんこ踊り」ともよばれ、元は雨乞い祈願や祇園祭の除災の踊りであった。踊りの願は、様々な祈禱や儀礼を重ねても降雨がない時に最後にかける願で、雨が降ったら願解きに「笹踊り」や「花踊り」を盛大に奉納したという。



勝手神社の神事踊もそのひとつで、現在は勝手神社の 10 月の秋祭に奉納されている。胸に鞆鼓を付けた「中踊り」、歌を歌う「歌出し」（立ち歌い・地歌い）、大太鼓を打つ「楽打」、2 匹の鬼など、あわせて 20 数名による優雅な踊りである。地元では、江戸時代の寛政年間頃には踊られていたと伝えられている。

現在伝承されている演目は、「式入」「御宮踊」「神役踊」「左舞の式入」「津島踊」の 5 演目である。踊りは歌のある地拍子と、歌がなく太鼓のリズムで踊る節拍子とが交互に繰り返される構成となっている。中踊りが背負う飾り「オチズイ」は、牡丹花の造花から紙製の花葉を貼り付けた細い竹「ホロバナ」が多数枝垂れる、大変美しいものである。これをなびかせつつ、6 人の中踊りが踊るほか、立ち歌いが団扇を手に踊り、楽打ちも立ち居を繰り返したり、太鼓の桴（バイ）を回転させるなど複雑な所作を見せる。

秋祭当日は、神社の御旅所から、馬子や籠馬、猿がおどけて先導しながら行列で境内に向かい、鳥居の下で神主の御祓いを受けたのち、境内の広場で踊る。踊りが終わると、中踊りや楽打が身に着けたホロバナや牡丹花を氏子や見物客が持ち帰り、厄除けのお守りとするが、これは祇園祭の花取り行事の名残である。

伊賀のかんこ踊りの大きな特徴は、節毎に「じんやくや」と囃す「じんやく踊り」を伝えるところにあり、勝手神社の神事踊では「神役踊」が該当する。「じんやく」は「順逆」の意であり、中世後期の流行歌謡である小歌を順意不同につなぎ合わせた形が、中世の風流踊りの形を残すものと評価されている。また、じんやく踊りは 17 世紀以降、伊賀市富永の新大仏寺が降雨信仰を集めるなかで、周辺各地に伝わったと推測され、雨乞い・除災を目的とする近隣の滋賀県、京都府、奈良県などに分布する太鼓踊りとの関連をうかがわせる。加えて、歌詞の一部が東日本の獅子踊りに象徴的にみられるなど、地域的特色や我が国の芸能の変遷過程を示しており、重要である。

なお、踊り子は、適性の高い若者を「コ」として後継者とし、自らは「オヤ」となって教えた後、現役を退くという伝承形態が残っている点も貴重である。

(3) 史跡の指定（追加）

【史跡】伊勢国府跡

追加指定日：平成 29 年 10 月 13 日
所在地：鈴鹿市広瀬町、西富田町
年代：奈良時代
追加指定面積：1,409 m²

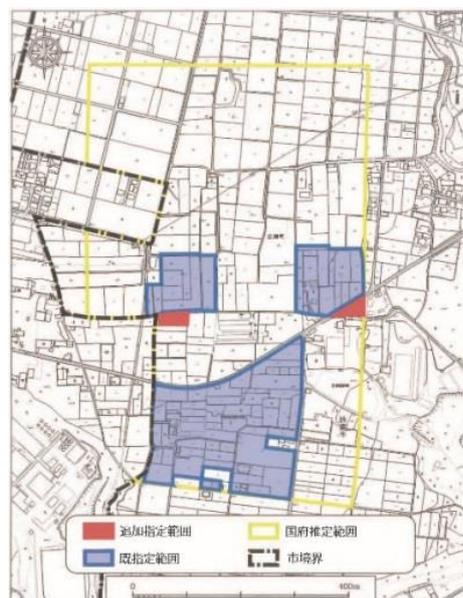
(既指定：73,940.37 m²、追加後合計：75,349.37 m²)

概要：伊勢国府跡（長者屋敷遺跡）は鈴鹿市西部に位置し、東西約 600m、南北約 800mの範囲が国府跡と考えられ、遺跡南部には政庁建物の基壇が良好に残存している。

平成 4 年度より計画的な発掘調査が継続して行われ、政庁を構成する礎石建物や南門をはじめ、北方官衙を構成する多数の建物が確認されている。政庁は、全て瓦葺礎石建物で正殿・後殿・脇殿等で構成され、建物の配置や規模が近江国府と酷似していることが明らかとなっている。

また、出土遺物より国府は 8 世紀半ばに成立し、9 世紀初頭には遷移したものと考えられる。こうした成果を受けて、伊勢国府跡は、平成 14 年 3 月 19 日に国の史跡に指定されている。

今回の追加指定となったのは、北方官衙のうち、国司館等に推定される大型の瓦葺建物群が確認されている 2 箇所の隣接地(鈴鹿市広瀬町字南野・字中起)の 1,409 m²である。



指定範囲位置図

(4) 有形文化財（建造物）の登録

24-0239 見庵（旧小泉家住宅主屋）

1 棟

登録日：平成 29 年 5 月 2 日
所在地：松阪市魚町 1643 他
所有者：個人
建設年代：江戸末期

登録基準：(一) 国土の歴史的景観に寄与する

概要：見庵は、松坂城下町の町人地に所在する町家で、周辺には重要文化財の旧長谷川家住宅や国特別史跡本居宣長宅跡がある。代々医師であった小泉家の居宅であり、4 代目の小泉見庵（1736～1783）は、紀州藩目見医師



である。平成 8 年に所有者が変わり、まどみのやかた「見庵」として宣長に関する展示や集会等の施設として利用されている。木造平屋建、瓦葺の建物で、玄関を入れて通り土間と 2 列の居室を配置する間取りとなっており、松坂城下町の中規模町屋の特徴をよく残している。近隣の旧長谷川家住宅や本居宣長宅跡とともに、歴史的景観を形成する建物である。

24-0240 貝増家住宅主屋

1 棟

登録日：平成 29 年 5 月 2 日
 所在地：名張市柳原町 3339
 所有者：個人
 建築年代：明治初期／昭和 38 年増築・
 平成 21 年改修

登録基準：(一) 国土の歴史的景観に寄与する

概要： 貝増家は、名張藤堂家の家臣で、初瀬街道から宇流富志祢神社への参道沿いにある。主屋は木造の建物で、正面の格子戸と白漆喰で縁取られた虫籠窓が特徴となっている。玄関を入るとかつて厩であった土間があり、左手に座敷を配置する間取りである。名張市内に残る武家屋敷の一つとして、初瀬街道周辺の良い景観を構成している。



24-0241～243 小川家住宅主屋・東蔵・西蔵

3 棟

登録日：平成 29 年 10 月 27 日
 所在地：名張市榊町 1404-2
 所有者：個人
 建築年代：主屋：江戸末期／
 昭和 30 年頃・50 年頃改修

東蔵：明治中期、西蔵：江戸末期

登録基準：(一) 国土の歴史的景観に寄与する

概要： 小川家は甲賀（滋賀県）の出身で、元和 2 年（1616）に初瀬街道沿いの榊町に移り、昭和 23 年まで醤油醸造業を行っていた商家である。主屋は、店舗兼住宅として建てられ、8 畳の客間には、付書院や床の間が設けられている。玄関から続く通り土間の先には、腰海鼠壁で飾った 2 階建ての東蔵と西蔵が建てられ、醤油醸造の作業場跡に続いている。これらの建物は、醤油醸造業で繁栄した当時の様子を現在に良好に伝えている。



24-0244 福德公民館（旧明村立明小学校福德分教場）

1 棟

登録日：平成 29 年 10 月 27 日

所在地：亀山市関町福德字下垣内 143-1

所有者：福德自治会

建築年代：昭和 25 年頃／

昭和 50 年・平成 20 年改修

登録基準：（一）国土の歴史的景観に寄与する

概要：旧明村立明小学校福德分教場は、昭和 25 年ごろ亀山市西部の山村集落に建てられた学校建築である。教室 1 室と床の間をもつ和室に倉庫や物置・便所を附属させるのみの、学校としては最小規模の建物であるが、正面玄関を張り出し左右対称となる構造、下見板張で窓を大きく開く外観など、学校建築の意匠をよく留めている。現在は、福德公民館として、地元の人々に活用されている。



24-0245～247 旧猪子家住宅主屋・土蔵・門柱

3 棟

登録日：平成 30 年 3 月 27 日

所在地：志摩市阿児町神明前方 693-8

所有者：個人

建築年代：主屋：昭和 9 年

／昭和中期、平成 29 年改修

土蔵・門柱：昭和 9 年

登録基準：主屋…（二）造形の規範となる

土蔵・門柱…

概要：旧猪子家住宅は、保険会社の各地の支店長などの要職を歴任した猪子彌平氏の退職後の住居として、昭和 9 年に英虞湾を見下ろす高台の南斜面に建築された住宅である。主屋は木造平屋建てで、張り出した玄関と台所部のそれぞれに入母屋の屋根を架け、変化に富んだ外観となっている。第二次世界大戦後に伊勢志摩国立公園となり、保養地としての利用が進むこの地域の和洋折衷の建物の先駆けとして、造形の規範となる建物である。主屋の西には、主屋に面して、2 階建てで寄棟屋根の土蔵が建っている。敷地西面に建つ門柱は重厚なもので、街路の歴史的景観に良好な影響を与えている。



4 市町指定文化財の指定等

(1) 指定

市町	種別	名称	所在地	所有者	指定日
四日市市	無形文化財 (工芸技術)	日永うちわの製作技術	四日市市日永四丁目	個人	H30.3.22
鈴鹿市	有形文化財 (典籍)	専照寺聖教類 附 関係資料 38 点	鈴鹿市磯山 1 丁目	専照寺	H29.8.9
津市	有形文化財 (美術工芸品)	南家城・川口井水並びに井生村井水関係文書	津市白山町川口	川口地区財産管理会	H30.3.29
	有形文化財 (美術工芸品)	銅造阿弥陀如来立像	津市大門	大宝院	H30.3.29
多気町	記念物 (史跡)	丹生水銀鉱採掘跡 (日ノ谷)	多気郡多気町丹生字日ノ谷	個人	H29.7.26
志摩市	記念物 (史跡)	泊古墳 鷹ヶ巣 1 号墳 鷹ヶ巣 2 号墳	志摩市大王町畔名	志摩市ほか 2 名	H29.4.28
紀北町	有形文化財 (建造物)	鯿大敷網創業者記念碑	北牟婁郡紀北町島勝浦	島勝浦区	H29.9.1
御浜町	有形文化財 (美術工芸品)	養正一代記	南牟婁郡御浜町大字阿田和	個人	H30.2.5
伊賀市	有形文化財 (美術工芸品)	伊賀国上柘植村并近江国和田・五反田村山論関係文書	伊賀市上野丸之内	伊賀市	H30.2.22
名張市	有形文化財 (美術工芸品)	延寿院津藩主寄進状	名張市赤目町長坂	延寿院	H30.3.13

(2) 解除

市町	種別	名称	所在地	所有者	解除日
亀山市	有形文化財 (建造物)	石造三重層塔	亀山市両尾町	宗教法人宗徳寺・両尾町原尾自治会	H30.3.26
津市	有形文化財 (書跡)	紺紙金銀字千手陀羅尼經	津市大門	大宝院	H30.2.16
松阪市	有形文化財 (古文書)	井伊直弼、長野主膳、妻多紀関係文書	松阪市飯高町大字宮前	個人	H29.4.27
	記念物 (天然記念物)	つばき (オランダ紅)	松阪市飯南町深野	来迎寺	H29.6.29
	記念物 (天然記念物)	旧川俣小学校跡街道松	松阪市飯南町富永	松阪市	H29.9.29
志摩市	記念物 (天然記念物)	ヒメコウホネ自生池	志摩市阿児町鶴方	個人	H29.4.28

5 三重県文化財保護審議会

(1) 審議会委員（任期：平成28年9月24日～平成30年9月23日）

氏名	担当分野	所属
林 良彦	建造物	奈良文化財研究所客員研究員
黒田 龍二	建造物	神戸大学大学院教授
関根 俊一	絵画・工芸	奈良大学副学長
梶谷 亮治	絵画・工芸	奈良国立博物館名誉館員
山口 泰弘	絵画・工芸	三重大学教授
伊東 史朗	彫刻	和歌山県立博物館長
松岡 久美子	彫刻	近畿大学准教授
藤澤 典彦	彫刻・考古資料・歴史資料	大阪大谷大学非常勤講師
岡野 友彦	文書・典籍	皇學館大学教授
岡嶋 偉久子	文書・典籍	天理大学附属天理図書館稀書目録室長
櫻井 治男	民俗	皇學館大学特別教授
古家 信平	民俗	筑波大学教授
鬼頭 秀明	民俗	中京大学講師
坂井 秀弥	考古資料・史跡・埋蔵文化財	奈良大学教授
広瀬 和雄	考古資料・史跡・埋蔵文化財	国立歴史民俗博物館名誉教授
高橋 知奈津	名勝・埋蔵文化財	奈良文化財研究所研究員
森 勇一	天然記念物（地質・地形）	前 金城学院大学非常勤講師
向井 譲	天然記念物（植物）	岐阜大学教授
前迫 ゆり	天然記念物（植物）	大阪産業大学大学院教授
森 誠一	天然記念物（動物）	岐阜経済大学教授

(2) 審議会

第1回	日時	平成29年8月9日（水）13時30分～16時30分
	場所	三重県栄町庁舎 5階 51会議室（三重県津市栄町1丁目954）
	内容	○報告 平成29年度文化財保護事業について 国指定等文化財の指定等について 国・県指定文化財の現状変更等について ○諮問 三重県指定候補文化財について ○審議 平成29年度三重県指定候補文化財の選考及び調査について
第2回	日時	平成30年1月15日（月）13時30分～16時30分
	場所	三重県庁 7階 教育委員室（三重県津市広明町13）
	内容	○報告 国指定等文化財の指定等について 国・県指定文化財の現状変更等について ○審議 平成29年度三重県指定候補文化財の指定について ○答申 平成29年度三重県指定文化財の指定等の答申

II 県実施の調査・保護事業

1 特天 カモシカ 天然記念物食害対策事業

【事業費 4,815 千円（国 2/3 3,210 千円、県 1,605 千円）】

(1) 紀伊山地カモシカ保護地域特別調査

おおむね 8 年に一度、カモシカの生息状況や生息環境を把握し、過去の特別調査結果との比較を行い、保護対策を検討するため実施する特別調査である。平成29年度は和歌山県教育委員会と奈良県山県教育委員会とで合同で実施した。業務の効率化等を図るため、関係 3 県の中から幹事県（和歌山県）を決め、幹事県が調査委託に関する事務及び指導委員会議等の運営に関する事務を一括している。

調査指導員	富田靖男（元三重県立博物館長・指導委員会議会議長） 武田明正（三重大学名誉教授） 土井恭平（森林組合おわせ代表理事組合長）		
調査委託	和歌山県		
指導委員会議	開催日	第1回：平成29年9月28日（木）、第2回：平成30年2月28日（水）	
	場所	第1回：奈良県庁、第2回：橿原考古学研究所	

(2) 鈴鹿山地カモシカ保護地域通常調査

おおむね 8 年に一度実施されるカモシカ特別調査の補完のため、特別調査が実施されない年度に、カモシカの生息状況や生息環境の年次変化を把握するための調査である。

調査指導員	富田靖男（元三重県立博物館長・指導委員会議会議長） 武田明正（三重大学名誉教授） 高柳 敦（京都大学講師）			
現地調査員	いなべ市藤原町	坂倉 義行・近藤 恒三	菰 野 町	満田 学・森 豊
	いなべ市北勢町	小森 良一・出口 幸雄	四 日 市 市	棚瀬賢一郎・棚瀬 裕貴
	いなべ市大安町	伊藤 友貴・山田 忠俊	鈴 鹿 市 市	前田 有・小岐須 佐典
連絡会議	開催日	平成29年9月2日（土）	場所	菰野町役場

(3) 特別天然記念物カモシカ保護指導委員並びに保護行政担当者会議

特別天然記念物カモシカの保護地域内およびその周辺における生息状況・個体群の動態、食害状況等について情報収集を行うとともに、今後の施策、食害対策等について協議する会議で、文化庁と開催地の地方公共団体が主催している。平成29年度は東京都で開催された。

開催日	平成 29 年 10 月 12 日（木）・13 日（金）	会場	奥多摩文化会館 （東京都西多摩郡奥多摩町小丹波82）
参加者	富田靖男、武田明正、高柳敦、亀井勇希		

2 世界に誇る三重の文化財記録事業【事業費 1,395 千円（県 1,395 千円）】

(1) 映像記録等作成活用事業

「鳥羽・志摩の海女漁の技術」の保存継承と魅力発信のため、国記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財「国崎のノット正月」（記録編・普及編）を制作した。制作後はインターネット上で配信している。

制作監修	櫻井治男（皇學館大学特別教授）・古家信平（筑波大学教授）・鬼頭秀明（中京大学講師）・小島孝夫（成城大学教授）・野村史隆（鳥羽市教育委員会）
制作委託	三重テレビエントープライズ株式会社

(2) 三重・石川・福井3県海女漁合同パネル展

三重・石川・福井3県の海女漁及び関連する習俗について、各県で調査した結果やその魅力などをパネル等により共同展示し、一般県民等に、3県における海女漁の共通性や独自性などを含めた形で紹介することにより、海女漁の認知度向上を図るとともに、その重要性をアピールした。

開催期間	展示場所
平成29年11月11日～同19日	石川県庁
平成29年12月4日～同15日	坂井市役所
平成29年12月18日～同21日	福井県庁
平成30年1月10日～同19日	三重県立図書館
平成30年1月22日～2月1日	志摩市役所
平成30年2月7日～同11日	東京・三重テラス

(3) 指定無形民俗文化財現地公開連携委託事業

海女漁の現地公開にかかるビューポイントの調査を鳥羽・志摩海女保存会に委託した。

3 世界遺産熊野参詣道保存管理事業【事業費 290 千円（県 290 千円）】

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」（平成16.7.7登録、平成28.10.24追加登録）の良好な保全管理のため、文化庁、奈良県・和歌山県、関係市町と連携した取組を行った。

(1) 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会【三重県負担金 220 千円】

① 趣旨と構成

『世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」三県協議会』（以下、三県協議会という）は、三重・奈良・和歌山の三県が、登録資産の保存・管理・活用の推進を目的に、平成17年度に設置した。会長・副会長・委員及び監事で組織されており、事務局は和歌山県（商工観光労働部観光振興課）に置かれている。三重県における役職の構成は、以下のとおり。

副会長 鈴木英敬（三重県知事）

委員 廣田恵子（三重県教育委員会教育長）、河上敢二（熊野市長）、村島赳朗（紀北町教育委員会教育長）

監事 辻善典（三重県教育委員会育成支援・社会教育担当次長）

② 三県協議会総会

開催地 大阪府教育会館たかつガーデン（大阪府大阪市天王寺区）

開催日時 平成29年6月2日（金）13:30～15:00

議事内容 平成28年度の事業報告・決算・監査報告、平成29年度事業計画・予算案

事業計画 保全状況のモニタリング調査と保存管理の実施、専門委員会の開催運営、普及啓発活動（「紀伊山地の参詣道ルール」の周知）、シンボルマークの利用促進

③ 三県協議会専門委員会

開催地 大阪府教育会館たかつガーデン（大阪府大阪市天王寺区）

開催日時 平成29年11月6日（月）13：30～16：30

議事内容 ・参詣道における適切な活用について（共通議題）
・バッファゾーン内における林業道作業道の改良及び間伐について（個別議題）
・追加登録後の取組について（報告）

出席委員 小野健吉（和歌山大学観光学部教授）、
櫻井敏雄（（公財）和歌山県文化財センター理事長）、
高須英樹（和歌山県立自然博物館長）、
西村幸夫（東京大学大学院工学系研究科教授）、
速水亨（速水林業代表）、増井正哉（京都大学教授）、
山陰加春夫（高野山大学名誉教授）

④ 第5回 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」行政担当者会議

開催地 シティプラザホテル（和歌山県田辺市）

現地検討会（和歌山県田辺市内）

開催日 平成30年1月18日（木）・19日（金）

内容 講演1「世界遺産の現状と最近の動向」 鈴木地平（文化庁記念物課）
講演2「世界遺産の保全の取組について」 辻林 浩（和歌山県世界遺産センター）
講演3「熊野参詣道伊勢路の活用について」 更屋好年（熊野市教育委員会）
講演4「歴史文化資源活用の取組について」 谷垣裕子（奈良県文化資源活用課）
講演5「世界遺産を活用した取り組みについて」 堀川秀博（天川村）
講演6「世界遺産「熊野古道」に外国人観光客を呼び込む着地型観光
～世界に開かれた持続可能な観光地を目指して～」
小川雅則（（一社）田辺市熊野ツーリズムビューロー）

⑤ 「紀伊山地の霊場と参詣道」シンボルマークの使用届出

受理件数：2件

(2) 県内の世界遺産保存管理

① 三重県世界遺産保全推進協議会幹事会

開催日時 第1回 平成29年4月21日（火）10：30～12：00

場 所 県尾鷲庁舎

内 容 世界遺産熊野参詣道の保全にかかる課題

② 世界遺産講演会

開催日時 平成29年11月18日（土） 13:30～15:00

場 所 大内山健康福祉センター・いきいきプラザ（度会郡大紀町大内山861-1）

内 容 講演「過去と未来をつなぐ道～熊野街道と近代化遺産～」

新名 強（三重県教育委員会）

4 史 県内遺跡 発掘調査等事業

【事業費 14,756 千円 (国 1/2 7,378 千円・県 1/2 7,378 千円)】

(1) 県営ほ場整備事業地内遺跡発掘調査【事業費 2,865 千円 (国 1/2 1,432 千円・県 1/2 1,433 千円)】

県営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査費のうち、農家負担分補助事業。

(県営ほ場整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査)

遺跡名	所在地	原因	期間	面積㎡	主要遺構、遺物
中坪遺跡	松阪市立田町	高度水利機能確保基盤整備事業	H29.6.29～ H30.1.29	3,775	掘立柱建物、井戸、溝、土坑、ピット、自然流路、水利施設等 石匙、磨製石斧、石錘、縄文土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器、陶器、磁器、鞆羽口、土錘、金属製品等
北野遺跡	多気郡明和町上野	高度水利機能確保基盤整備事業	H30.1.29～ H30.2.2	90	竪穴建物、溝、土坑、ピット
上黒土遺跡	玉城町山岡	特定農業用管水路等特別対策事業	H30.1.22 ～ H30.2.28	655	溝、土坑、ピット 土師器、須恵器、白磁、灰釉陶器、山茶椀、陶器
計				4,520	

(2) 埋蔵文化財出土遺物保存処理【事業費 1,195 千円 (国 1/2 598 千円、県 1/2 597 千円)】

亀山市井田川茶臼山古墳出土の鉄製品のうち、劣化が進みつつあるものについて保存科学的処理を施し、その恒久保存を図る。

平成 29 年度は、合計 10 点の馬具や刀、鉄鏃の保存処理を実施。

(処理委託：(株) 吉田生物研究所)

(3) 国史跡斎宮跡発掘調査【事業費 10,696 千円 (国 1/2 5,348 千円・県 1/2 5,348 千円)】

国史跡斎宮跡解明のために、史跡西部の「初期斎宮」想定地の実態を解明するための調査として、167 ㎡の計画調査 (第 192 次) を実施した。詳細は斎宮歴博物館年報を参照されたい。

5 県内埋蔵文化財 地域の特色ある埋蔵文化財活用事業

【事業費 2,000 千円 (国 1/2 1,000 千円・県 1/2 1,000 千円)】

埋蔵文化財を題材とした教材を製作し、主に子どもたちを対象に学校等への出前講座や体験事業を実施して活用し、埋蔵文化財を通じて地域に根差した人材の育成や地域の魅力を引き出すことを目指した。

6 重文 三重県斎宮跡出土品 美術工芸品保存修理事業

【事業費 2,040 千円 (国 1/2 1,020 千円・県 1/2 1,020 千円)】

斎宮跡出土品について保存修理を行う。平成29年度は、緑釉陶器 6 点、土師器 1 点、黒色土器 1 点、小型模造品 2 点について、解体、クリーニング、強化処置、再接合、復元、補彩、及び銅製品 1 点の保存処理を行った。

修理委託：(株) 吉田生物研究所

Ⅲ 文化財補助事業等

1 国庫補助事業

(1) 建造物

事業者	(公財) 諸戸財団	事業名	重文 諸戸家住宅主屋ほか 5 棟建造物保存修理		
所在市町	桑名市	総事業費	2,713,334,000	総事業期間	H22-33
H29度事業額	200,000,000	国補助額	170,000,000	県補助額	15,000,000
事業内容	主屋ほか5棟の解体・半解体工事。 H29度：広間…経師工事、玄関及び座敷棟…建具工事、玉突場…内装工事 主屋…仮設工事・解体工事・発掘調査				
備考	設計監理：(公財) 文化財建造物保存技術協会、工事請負：高橋建設(株)、松井建設(株) 名古屋支店、 樹木伐採・手水鉢移動格納工事：植彌加藤造園(株)、経師工事：(株) 松井春峰堂、発掘調査：(株) 文化財サービス三重営業所				

事業者	日本貨物鉄道株式会社	事業名	重文 末広橋梁(旧四日市港駅鉄道橋) 近代化遺産等重点保存修理		
所在市町	四日市市	総事業費	10,666,674	総事業期間	H28-30
H29度事業額	3,299,649	国補助額	1,647,000	県補助額	329,000
事業内容	歯車及びドラム支持台の補修(前方台座部補修工事、セットボルト補修工事)				
備考	設計監理：(株) 文化財保存計画協会、工事請負：第一電機工業(株) 名古屋支店				

事業者	宗教法人 金剛證寺	事業名	重文 金剛證寺本堂 美しい日本探訪のための文化財建造物魅力向上促進		
所在市町	伊勢市	総事業費	17,614,800	総事業期間	H29-H30
事業額	10,594,800	国補助額	5,297,000	県補助額	1,059,000
事業内容	高欄・縁板の木工事、向拝の軒付清掃、垂木・斗拱ほかの清拭・清掃				
備考	設計監理：特定非営利活動法人 日本伝統建築技術保存会設計事務所、工事請負：(株) 西澤工務店				

事業者	津市	事業名	登録 旧明村役場庁舎文化財建造物等活用地域活性化(登録有形文化財)		
総事業費	55,150,537	総事業期間	H26-30		
H29度事業額	34,910,916	国補助額	17,455,000	県補助額	2,443,000
事業内容	移設・耐震補強工事の実施、保存活用計画の改定。				
備考	技術指導：(株) 文化財構造計画、工事請負：(株) 杉本建設				

事業者	鳥羽市	事業名	登録 旧鳥羽小学校校舎文化財建造物等活用地域活性化（登録有形文化財）		
総事業費	643,208,758	総事業期間	H26-31		
H29度事業額	6,262,000	国補助額	4,070,000	県補助額	438,000
事業内容	耐震補強工事、耐震補強・改修の実施設計。				
備考	技術指導：(株)文化財構造計画、工事請負：(有)鳥羽配管設備				

(2) 美術工芸品

事業者	亀山市	事業名	田中稲造家資料亀山市域近世近代 史料調査		
総事業費	8,994,000	総事業期間	H27-29		
H29度事業額	2,797,916	国補助額	1,398,000	県補助額	195,000
事業内容	関宿の商家の一つである田中稲造家伝来の史資料の悉皆調査。平成29年度は、平成27・28年度の史資料庁さの補足と写真撮影を実施。調査全体の調査報告書の編集及び印刷刊行を行った。				
備考	専門委員：谷口昭（名城大学教授）、伊藤俊一（名城大学教授）、富田靖男（元三重県立博物館長）、藤原寛（元三重県立博物館長）、岸田早苗（斎宮歴史博物館） 専門委員会：平成29年7月26日、10月27日 文化庁現地指導会議：平成29年7月26日、11月10日				

事業者	松阪市	事業名	長谷川家資料 史料調査		
総事業費	24,500,000	総事業期間	H25-29		
H29度事業額	7,137,000	国補助額	3,568,000	県補助額	499,000
事業内容	調査のまとめを行う指導委員会をおき、必要に応じて調査実務について検討する調査委員会を開催し、その下に史料調査を実施した。調査は3班体制により、それぞれ月数回程度旧長谷川邸において史料調査を実施し、調査結果をデータ化、報告書作成を行った。調査資料の整理も行った。				
備考	指導委員：門暉代司（松阪市文化財保護審議会委員）、塚本明（三重大学教授）、茂木陽一（三重短期大学教授）、中谷真弓（松阪市文化財保護審議会委員）、鈴木えりも（日本福祉大学知多半島総合研究所）、青木泰樹 専門委員：藤原寛（元三重県立博物館長） 調査委員会：平成29年8月22日				

事業者	宗教法人 専修寺	事業名	重文 専修寺聖教 美術工芸品保存修理		
所在市町	津市	総事業費	54,789,000	総事業期間	H21-35
H29度事業額	3,667,748	国補助額	1,833,000	県補助額	366,000
事業内容	専修寺聖教82点のうち、「浄土和讃」「正像末法和讃」「皇太子聖徳奉讃」「法然上人伝法絵」「西方発心集」「唯信抄」6点の修理（平成29・30年度の2か年計画）。				
備考	委託先：(株)松鶴堂				

事業者	松阪市	事業名	重文 松浦武四郎関係資料 美術工芸品保存修理		
総事業費	33,110,000	総事業期間	H25-30		
H29度事業額	2,710,000	国補助額	1,355,000	県補助額	189,000
事業内容	松浦武四郎関係資料のうち、「野田竹溪書簡」、一枚もの資料（未表装、16点）「北海道郡図」の修理。				
備考	委託先：(株)坂田墨珠堂				

事業者	公益財団法人 石水博物館	事業名	重文 佐藤家文書 美術工芸品保存修理事業		
所在市町	津市	総事業費	2,510,945	総事業期間	H29
H29度事業額	2,510,945	国補助額	1,380,000	県補助額	0
事業内容	佐藤家文書（五十九通）8巻1通のうち1巻1通の修理。				
備考	委託先：(株)松鶴堂				

事業者	西光寺	事業名	重文 木造観世音菩薩坐像・勢至菩薩坐像 美術工芸品防災施設		
所在市町	伊賀市	総事業費	396,000	総事業期間	H29
H29度事業額	396,000	国補助額	198,000	県補助額	39,000
事業内容	非常通報装置、熱線センサー（立体警戒型）、警報ベル、熱感知器、フラッシュライトの設置。				
備考	工事請負：(株)安全警備				

事業者	宗教法人 近長谷寺	事業名	重文 木造十一面観音立像 美術工芸品防災施設事業		
所在市町	多気町	総事業費	1,300,000	総事業期間	H29
H29度事業額	1,300,000	国補助額	1,105,000	県補助額	130,000
事業内容	平成23年度に整備した防災・防犯システムのうち、公民館に設置していた監視及び通報システムが、平成29年1月の台風21号でき損したため、システムを修繕した。				
備考	工事請負：青木電気株式会社				

(3) 無形文化財

事業者	伊勢型紙技術保存会	事業名	重無 伊勢型紙無形文化財（伝承）団体		
所在市町	鈴鹿市	総事業費		総事業期間	H5-
H29度事業額	11,570,000	国補助額	10,000,000	県補助額	700,000
事業内容	技術錬磨のため復刻作品の作成や伝承者の養成のための研修会、関連産地の視察の実施、原材料（型地紙）や諸道具の確保を行い、技術の保存を図った。				
備考					

(4) 民俗文化財

事業者	桑名石取祭保存会	事業名	重無民 桑名石取祭の祭車行事民俗文化財伝承・活用等		
所在市町	桑名市	総事業費	43,287,000	総事業期間	H24-H29
H29度事業額	2,610,000	国補助額	1,300,000	県補助額	260,000
事業内容	入江葎町本楽用天幕復元修理、春日町本楽用天幕復元修理を行った。				
備考	<p>指導委員：植木行宣（元京都学園大学教授）、長谷川嘉和（元滋賀県教育委員会）、 鬼頭秀明（中京大学非常勤講師）、水野耕嗣、村田信夫（OFFICE 萬瑠夢）、 藤井健三（一般社団法人西陣織物館 顧問）</p> <p>保存伝承委員会：平成 29 年 5 月 9 日、9 月 22 日 工事請負：(株)川島織物セルコン</p>				

事業者	上野文化美術保存会	事業名	重無民 上野天神祭のダンジリ行事民俗文化財伝承・活用等		
所在市町	伊賀市	総事業費	40,160,000	総事業期間	H28-H36
H29度事業額	3,400,202	国補助額	1,700,000	県補助額	340,000
事業内容	魚町御簾新調、鍛冶町楼車修理を行った。				
備考	<p>審議会委員：植木行宣（元京都学園大学教授）、長谷川嘉和（元滋賀県教育委員会）、 村田信夫（OFFICE 萬瑠夢）、久保智康 藤井健三（一般社団法人西陣織物館 顧問）</p> <p>審議会：平成 29 年 5 月 23 日、11 月 7 日、平成 30 年 3 月 6 日 工事請負：(有)竹松商店、澤田建築</p>				

(5) 記念物

事業者	四日市市	事業名	史 久留倍官衙遺跡歴史生き活き！史跡等総合活用整備		
総事業費	475,134,000	総事業期間	H24-31		
H29度事業額	48,200,000	国補助額	24,100,000	県補助額	3,374,000
事業内容	<p>史跡整備として、遺構整備・ガイダンス設備の施設の設置等を行う。 H29 度は遺構表示や植栽、外灯の設置等の整備を行った。</p>				
備考	<p>検討委員：山中章（三重大学名誉教授）、黒崎直（富山大学名誉教授）、 岡田登（皇學館大学名誉教授）、箱崎和久（奈良文化財研究所都城発掘調査部遺構研究室長） 中川ゆかり（羽衣国際大学教授）、古市立美（久留倍遺跡運営委員会会長）、 中森ゆき子（四日市市文化振興に関する市民会議委員）</p> <p>検討委員会：平成 30 年 3 月 19 日 業務委託：(株)東邦地水、(株)富士測量 工事請負：(株)聖建工、荒木造園土木</p>				

事業者	鈴鹿市	事業名	史 伊勢国分寺跡 歴史生き活き！史跡等総合活用整備		
総事業費	420,400,000	総事業期間	H20-31		
H29度事業額	25,790,000	国補助額	12,895,000	県補助額	1,805,000
事業内容	遺構表示・舗装・芝張り等の保存整備				
備考	<p>検討委員：伊藤久嗣（鈴鹿市文化財調査会委員）、加藤二三子（元鈴鹿市青少年育成市民会議会長）、小岐須寛（国分町自治会長）、桐生悦夫（元河曲地区青少年育成町民会議会長）、中島義晴（奈良文化財研究所）、箱崎和久（奈良文化財研究所）、林紘（鈴鹿市考古博物館サポート会会長）、渡辺寛（皇學館大学名誉教授）、朝倉由希（東京芸術大学非常勤講師）</p> <p>検討委員会：平成 30 年 3 月 13 日</p> <p>工事請負：(有)スズカテック</p>				

事業者	松阪市	事業名	史 松坂城跡 歴史生き活き！史跡等総合活用整備		
総事業費	557,652,000	総事業期間	H26-36		
H29度事業額	5,626,000	国補助額	2,813,000	県補助額	393,000
事業内容	石垣保存修理実施設計および危険木・支障木の調査および伐採				
備考	<p>整備検討委員：千田嘉博（奈良大学教授）、門暉代司（松阪市文化財保護審議委員）、河北秀実（前三重県埋蔵文化財センター所長）、内田和伸（奈良文化財研究所）、小澤毅（三重大学教授）</p> <p>検討委員会：平成 29 年 7 月 14 日、9 月 13 日、平成 30 年 3 月 20 日</p> <p>業務委託：(株)空間文化開発機構（実施設計）、松阪飯南森林組合（樹木伐採）</p>				

事業者	四日市市	事業名	史 久留倍官衙遺跡 史跡等買上げ（先行取得償還）		
総事業費	216,438,000	総事業期間	H23-32		
H29度事業額	26,316,000	国補助額	21,052,000	県補助額	1,842,000
事業内容	平成 22 年度先行取得した史跡地（18,303.26 m ² ）の経費償還。				
備考					

事業者	明和町	事業名	史 斎宮跡 史跡等買上げ（直接買上げ）		
総事業費	10,834,454,700	総事業期間	S54-H44		
事業額	83,033,700	国補助額	66,426,000	県補助額	12,454,000
事業内容	史跡指定範囲の公有地化				
備考					

事業者	明和町	事業名	史 斎宮跡 史跡等買上げ（先行取得償還）		
総事業費	433,474,000	総事業期間	H14-31		
H29度事業額	51,441,114	国補助額	41,151,000	県補助額	7,715,000
事業内容	平成19年度及び21年度に先行取得した史跡地の経費償還				
備考	平成19年度（5,743㎡）及び21年度（7,775㎡）				

事業者	神宮	事業名	史 旧林崎文庫 保存活用計画策定		
総事業費	5,770,000	総事業期間	H29-30		
H29度事業額	2,235,000	国補助額	1,117,000	県補助額	223,000
事業内容	保存活用計画の策定。				
備考	指導委員：菅原洋一（三重大学教授）、小澤毅（三重大学教授）、森慎吾（神宮司庁文教部） 窪寺恭秀（神宮司庁文教部）、岡田泰明（神宮司庁営林部）、久保英毅（神宮司庁営繕部） 藤岡尚孝（神宮司庁文教部） 指導委員会：平成29年7月28日、11月21日、平成30年2月27日 業務委託：（株）林廣伸建築事務所				

事業者	（公財）諸戸財団	事業名	名 諸戸氏庭園 歴史生き生き！史跡等総合活用整備		
所在市町	桑名市	総事業費	653,980,000	総事業期間	H20-34
H29度事業額	39,640,290	国補助額	19,820,000	県補助額	3,964,000
事業内容	庭園の修復整備。H29年度は溝渠護岸の修復及び藤棚更新Ⅰ期工事、修復剪定、旧休憩室修理のⅡ期工事等を行った。				
備考	指導委員：尼崎博正（京都造形芸術大学教授）、近藤久郎（桑名市教育委員会教育長）、 菅原洋一（三重大学教授）、高橋知奈津（奈良文化財研究所）、麓和善（名古屋工業大学大学院教授）、 花里利一（三重大学教授） 指導委員会：平成29年7月5日、10月31日、平成30年1月29日 業務委託：設計監理…（株）環境事業計画研究所 試掘調査…（株）文化財サービス 工事請負：修復剪定・溝渠護岸修復…植彌加藤造園（株）、建造物修理…（株）魚津社寺工務店				

事業者	菰野町	事業名	天 田光のシデコブシ及び湿地植物群落 史跡等買上げ（直接買上げ）		
総事業費	32,299,764	総事業期間	H29-		
H29度事業額	32,299,764	国補助額	25,839,000	県補助額	2,260,000
事業内容	指定地北側（Nエリア）の個人所有地の用地買収を行った。				
備考	業務委託：株式会社 コスモ鑑定コンサルタント				

事業者	大台町	事業名	特天 カモシカ 天然記念物食害対策		
総事業費	925,456,000	総事業期間	S56-		
H29度事業額	4,453,000	国補助額	2,968,000	県補助額	348,000
事業内容	カモシカ保護地域における食害対策用保護柵の設置。4カ所 柵総延長 1389.9m (1.92ha)				
備考	委託先：宮川森林組合				

事業者	紀北町	事業名	特天 カモシカ 天然記念物食害対策		
総事業費	397,628,000	総事業期間	S58-		
H29度事業額	5,584,200	国補助額	3,722,000	県補助額	421,000
事業内容	カモシカ保護地域における食害対策用保護柵の設置。3カ所 柵総延長 2,142m (4.37ha)				
備考	委託先：森林組合おわせ				

事業者	いなべ市	事業名	天 ネコギギ 天然記念物再生		
総事業費	30,465,000	総事業期間	H18-		
H29度事業額	2,202,149	国補助額	1,100,000	県補助額	154,000
事業内容	員弁川水系のネコギギ個体群再生のため、生息状況調査ならびに保護増殖を行う。H29度は市内の生息環境調査、保護増殖・飼育、再導入可能場所選定及び方再導入を行った。				
備考	指導委員：森誠一（岐阜経済大学教授）、渡辺勝敏（京都大学大学院准教授）、田代喬（名古屋大学准教授）、里中知之（志摩マリンランド館長） 指導委員会：平成29年10月6日、平成30年3月12日 飼育増殖委託：志摩マリンランド、滋賀県立琵琶湖博物館				

事業者	四日市市	事業名	天 御池沼沢植物群落 天然記念物再生		
総事業費	31,140,000	総事業期間	H23-30		
H29度事業額	2,140,439	国補助額	1,070,000	県補助額	149,000
事業内容	湿地内の樹木の伐採・伐根、浚渫、観察路補修				
備考	指導委員：武田明正（三重大学名誉教授）、桐生定巳（学識経験者）、加田勝敏（学識経験者）、石田昇三（学識経験者） 委託業者：カワサキグリーン（株）、藤谷造園（株）				

事業者	亀山市	事業名	天ネコギギ 天然記念物再生		
総事業費	8,200,000	総事業期間	H28-31		
H29度事業額	2,036,546	国補助額	1,000,000	県補助額	140,000
事業内容	鈴鹿川水系のネコギギ生息状況把握を続けながら、地域住民への普及啓発を行い、生息環境の再生につなげていく。H29度は鈴鹿川水系のモニタリング及び河川環境調査を実施した。また、保護増殖・飼育及び再放流を行った。				
備考	指導委員：森誠一（岐阜経済大学教授）、渡辺勝敏（京都大学大学院准教授） 北村涼一（三重県総合博物館）、川北要始補（亀山市文化財保護審議会委員） 指導委員会：平成29年6月8日、平成29年10月2日 生息調査委託：環境科学大阪株式会社 河川環境調査委託：環境科学大阪株式会社				

事業者	名張市	事業名	特天 オオサンショウウオ 天然記念物緊急調査		
総事業費	26,280,000	総事業期間	H25-34		
H29度事業額	2,736,477	国補助額	1,368,000	県補助額	191,000
事業内容	赤目の峡谷とその周辺において、オオサンショウウオの生息調査とDNA サンプルング調査を行った。また保護池で交雑種と確認された個体の一時飼育を行った。				
備考	指導委員：松井正文（京都大学大学院教授）、清水善吉（三重県文化財保護指導委員） 岡田純（日本ハンザキ研究所長）、 江川紫（日本サンショウウオセンター職員）、松月茂明 指導委員会：平成29年8月10日、平成30年3月6日 生息調査・保護飼育委託：三重自然誌の会、NPO法人 赤目四十八滝溪谷保勝会 名張市文化遺産活性化実行委員会				

（6）埋蔵文化財

事業者	鈴鹿市	事業名	市内遺跡発掘調査等		
総事業費	79,000,000	総事業期間	H24-33		
H29度事業額	9,000,000	国補助額	4,500,000	県補助額	1,050,000
事業内容	長者屋敷遺跡第36次発掘調査、磐城山遺跡第10次発掘調査、伊勢国府跡20報告書作成・刊行、市内遺跡の発掘調査（試掘・確認調査）：23件				
備考	指導委員：小澤 毅（三重大学教授）、川越俊一（奈良文化財研究所名誉研究員）、 金田章裕（京都大学名誉教授）、渡辺 寛（皇學館大学名誉教授）、 和田勝彦（文化財虫害研究所常務理事）				

事業者	津市	事業名	市内遺跡発掘調査等		
総事業費	200,688,000	総事業期間	H8-33		
H29度事業額	5,038,978	国補助額	2,519,000	県補助額	587,000
事業内容	多気北畠氏遺跡（金国寺跡）地形測量（7,800㎡）、H28度市内遺跡試掘・確認調査報告書作成・刊行、市内遺跡の確認調査（14件）、出土金属製遺物保存処理（17点）				
備考	指導委員：稲本紀昭（元京都女子大学教授）、金田章裕（京都大学名誉教授）、服部英雄（九州大学名誉教授）、藤澤良祐（愛知学院大学教授）、増淵徹（京都橋大学教授）、小澤毅（三重大学教授）、渡辺寛（皇學館大学名誉教授） 保存処理委託：（株）吉田生物研究所				

事業者	松阪市	事業名	市内遺跡発掘調査等		
総事業費	94,368,000	総事業期間	H12-38		
H29度事業額	2,310,000	国補助額	1,155,000	県補助額	269,000
事業内容	市内重要遺跡の確認調査（13件）、久米南遺跡出土木製品3点の保存処理				
備考	保存処理委託：（株）吉田生物研究所				

事業者	明和町	事業名	町内遺跡発掘調査等		
総事業費	187,654,000	総事業期間	S54-H45		
H29度事業額	2,369,960	国補助額	1,155,000	県補助額	269,000
事業内容	町内遺跡の確認調査（9件）、史跡斎宮跡平成28年度現状変更緊急発掘調査報告刊行				
備考					

事業者	志摩市	事業名	市内遺跡発掘調査等		
総事業費	35,733,000	総事業期間	H22-33		
H29度事業額	2,540,120	国補助額	1,270,000	県補助額	296,000
事業内容	市内重要遺跡の発掘調査（試掘5ヶ所）及び市内遺跡詳細分布調査（磯部町・志摩町の一部）、志島古墳群4号墳出土遺物保存処理（8点）				
備考	保存処理委託：（株）文化財サービス				

事業者	名張市	事業名	市内埋蔵文化財 地域の魅力ある埋蔵文化財活用		
総事業費	92,925,000	総事業期間	H26-29		
H29度事業額	12,998,521	国補助額	6,499,000	県補助額	909,000
事業内容	埋蔵文化財センター整備。旧小学校本館の収蔵庫・展示室・事務室への改修工事のうち、H29度は便所の改装、図書室造りつけ本棚及び図書ブースの設置、会議室・講座室の空調整備等を行った。				
備考	設計委託：GOTOエンジニア、 工事請負：（株）山崎建設、光輝建設（株）、（株）ホリオ				

(7) 重要伝統的建造物群保存地区

事業者	亀山市	事業名	重伝建 亀山市関宿 伝統的建造物群基盤強化		
総事業費	1,414,940,216	総事業期間	S60-		
H29度事業額	26,185,776	国補助額	13,092,000	県補助額	1,832,000
事業内容	伝建地区内の建物修理3件・修景1件に関する間接補助				
備考	設計監理委託：中浦建築事務所、シンカイ設計、(株)ARTS、田上設計				

事業者	亀山市	事業名	重伝建 亀山市関宿(地域活性化)文化財建造物等を活用した地域活性化(伝統的建造物等)		
総事業費	45,474,870	総事業期間	H29-30		
H29度事業額	事業額	13,368,000	国補助額	6,684,000	県補助額
H30度繰越額		20,102,000			
事業内容	「関の山車」会館の整備。平成29年度は、旧光谷家住宅主屋を管理・展示棟として公開活用するため保存修理と合わせて照明設備等の整備を実施(一部をH30年度へ繰越)				
備考	設計監理委託：シンカイ設計、中浦建築事務所、工事請負：白川建設(株)				

(8) 指定文化財管理事業による間接補助

事業者	個人	事業名	重文 町井家住宅主屋書院 防災設備保守点検		
所在市町	伊賀市	総事業費	209,520	総事業期間	H29
H29度事業額	209,520	国補助額	-	県補助額	74,000
事業内容	防災設備(自動火災報知器、消火栓、避雷針等)の保守点検				
備考	点検業者：ニッタン(株)中部支社				

事業者	宗教法人 慈恩寺	事業名	重文 木造阿弥陀如来立像 防災設備保守点検		
所在市町	亀山市	総事業費	166,620	総事業期間	H29
H29度事業額	166,620	国補助額	-	県補助額	83,000
事業内容	防災設備(自動火災報知器、消火設備(加圧式))の保守点検、消防用ホース4本の取り換え。				
備考	施工業者：総合防災ナカテック、(有)大森電気工業所				

事業者	合同会社 苗秀社	事業名	重文 旧松坂御城番長屋西棟 虫害防除		
所在市町	松阪市	総事業費	863,690	総事業期間	H29
H29度事業額	863,690	国補助額	-	県補助額	307,000
事業内容	西棟全棟の虫害防除のための薬剤散布				
備考	施工業者：(株)シロアリ技研				

2 県費補助事業

(1) 建造物

事業者	宗教法人 春日神社	事業名	春日神社拝殿 保存修理		
所在市町	伊賀市	総事業費	265,673,656	総事業期間	H28-34
H29度事業額	46,629,729	国補助額	-	県補助額	23,314,000
事業内容	素屋根の設置、解体工事の着手、木材の購入、危険木の伐採				
備考	指導委員：菅原洋一、黒田龍二 設計監理：(株) 継承社、工事請負：(株) 奥谷組				

事業者	合同会社 苗秀社	事業名	御城番屋敷土蔵 虫害防除		
所在市町	松阪市	総事業費	226,800	総事業期間	H29
H29度事業額	226,800	国補助額	-	県補助額	113,000
事業内容	虫害防除のための薬剤散布				
備考	施工業者：(株) シロアリ技研				

事業者	宗教法人 浄明院	事業名	石造宝篋印塔 建造物防災施設		
所在市町	津市	総事業費	399,600	総事業期間	H29
H29度事業額	399,600	国補助額	-	県補助額	199,000
事業内容	防犯カメラ2台および監視用モニタ等を設置				
備考	委託：三重総合警備保障(株)				

事業者	亀山市	事業名	亀山城本丸東南隅櫓 保存修理		
総事業費	2,842,767	総事業期間	H29		
H29度事業額	2,842,767	国補助額	-	県補助額	907,000
事業内容	台風で剥落した漆喰及び中塗りの修理				
備考	工事請負：堀田建設(株)				

(2) 民俗文化財

事業者	宗教法人 浄土寺	事業名	紙本著色熊野観心十界曼荼羅 保存修理 ※民俗		
所在市町	伊勢市	総事業費	703,000	総事業期間	H29
H29度事業額	1,407,600	国補助額	-	県補助額	703,000
事業内容	修理、表具新調				
備考	委託：(株) ナカシャクリエイテブ				

(3) 記念物

事業者	宗教法人 伊奈富神社	事業名	名 伊奈富神社庭園保存修理		
所在市町	鈴鹿市	総事業費	3,985,000	総事業期間	H27-31
H29度事業額	1,000,000	国補助額	-	県補助額	500,000
事業内容	庭園内の池及び島の修復、危険木・支障木の伐採を行った。				
備考	指導委員：中島義晴（奈良文化財研究所）、中村昌幸（樹木医）、衣斐弘行（鈴鹿市文化財調査会） 指導委員会：平成 29 年 5 月 30 日、10 月 10 日 工事請負：木楽				

事業者	玉城町	事業名	史 田丸城跡		
所在市町	玉城町	総事業費	9,980,000	総事業期間	H29-
H29度事業額	9,980,000	国補助額	-	県補助額	4,990,000
事業内容	平成 29 年度の台風による災害復旧事業として、崩落した斜面の復旧や石垣の写真測量等を実施した。				
備考	指導委員：菅原洋一（三重大学教授）、小澤毅（三重大学教授）、田垣喜久雄（玉城町文化財調査委員）、 岩崎澄雄（郷土史）、北垣聰一郎（金沢城調査研究所名誉所長）、千田嘉博（奈良大学教授） 指導委員会：平成 29 年 8 月 29 日 工事請負：(株)桜井組 業務委託：(株)イビソク（写真測量）、いせしま森林組合（樹木伐採）				

(4) 地域文化財総合活性化事業

名称	事業主体	事業額	補助額	参加者数	内容
天 ネコギギ 天然記念物再生	十社小学校親師会	100,000	50,000	104	学習会
重文 諸戸家住宅主屋ほか5棟 建造物保存修理	(公財) 諸戸財団	21,600	6,000	83	ポスター印刷及び現場公開
名 諸戸氏庭園 歴史生き生き！史跡等総合活用整備	(公財) 諸戸財団	27,920	13,000	18 7,296	修理現場見学 庭園一般公開
重無民 桑名石取祭の祭車行事 民俗文化財伝承・活用等 活用	桑名石取祭保存会	170,628	84,000	100	地域のイベントでの体験学習
天 田光のシデコブシ及び湿地植物群 史跡等買上げ（直接買上げ）	菰野町	120,000	15,000	20	観察会
史 久留倍官衙遺跡 歴史生き生き！史跡等総合活用整備	久留倍遺跡まつり実行委員会	345,000	172,000	380	シンポジウム
史 久留倍官衙遺跡 史跡等買上げ（先行取得償還）	四日市市	21,000	10,000	418	講座及び展覧会
天 御池沼沢植物群落 天然記念物再生	四日市市	20,453	10,000	28	植物観察・学習会
重文 末広橋梁（旧四日市港駅鉄道橋） 近代化遺産等重点保存修理	日本貨物鉄道株式会社	-	-	36	見学会（国補助事業で対応）

名 称	事 業 主 体	事業額	補助額	参加者数	内容
史 伊勢国分寺跡 歴史生き生き！史跡等総合活用整備	鈴鹿考古博物館サポート会	20,000	10,000	320	講演会・コンサート等
史 市内遺跡 発掘調査等	鈴鹿市	200,000	100,000	789	体験発掘・速報展
名 伊奈富神社庭園 保存修理	伊奈富神社庭園七島池保存会	20,850	10,000	433	展示会
天 ネコギギ 天然記念物再生	亀山市	30,142	15,000	17	講義及びワークショップ
重伝建 亀山市関宿 伝統的建造物群基盤強化	特定非営利活動法人 亀山文化資産研究会	78,359	25,000	56	現場見学会
重伝建 亀山市関宿（地域活性化）文化財建造物等を活用した地域活性化（伝統的建造物等）	関宿「関の山車」保存会	4,000	2,000	40	講義
亀山市域近世近代史料 史料調査	亀山市	11,860	5,000	27	講座
県 亀山城本丸東南隅櫓 保存修理	亀山市	2,000	1,000	20	説明会
市内遺跡 発掘調査等	宗教法人 北畠神社	25,752	12,000	34	講演会
重文 専修寺聖教 美術工芸品保存修理	(宗) 専修寺	24,000	12,000	34	講演会
旧明村役場庁舎 文化財建造物等活用地域活性化（登録有形文化財）	津市	10,476	5,000	22	ウォークラリー
県 石造宝篋印塔 建造物防災施設	浄明院	2,000	1,000	20	講演会
重文 松浦武四郎関係資料 美術工芸品保存修理	松浦武四郎記念館友の会	12,000	6,000	40	修理に関する講演会
市内遺跡 発掘調査等	松阪市	50,000	25,000	2,000	パンフレット作成
史 松坂城跡 歴史生き生き！史跡等総合活用整備	松阪市	50,000	25,000	160	シンポジウム
県 御城番屋敷土蔵 虫害防除	松阪市	50,000	25,000	30	パンフレット作成
長谷川家資料 史料調査	松阪市	50,000	25,000	2,286	パンフレット印刷
町内遺跡 発掘調査等	明和町	110,000	55,000	302	展示会
史 斎宮跡 史跡等買上げ（直接買上げ）	明和町	90,000	45,000	60	ウォーキングイベント
史 斎宮跡 史跡等買上げ（先行取得償還）	明和町	72,515	35,000	100	ウォーキングイベント
重文 金剛證寺本堂 美しい日本探訪のための文化財建造物魅力向上促進	金剛證寺	10,000	5,000	25	修理現場説明会

名 称	事 業 主 体	事業額	補助額	参加者数	内容
県 紙本著色熊野観心十界曼荼羅 保存修理 ※民俗	浄土寺	20,000	10,000	40	曼荼羅絵解き
史 旧林崎文庫 史跡等保存活用計 画策定	宗教法人 神宮	64,800	30,000	6,026	特集展示
登録 旧鳥羽小学校校舎 文化財建 造物等活用地域活性化（登録有形文 化財）	鳥羽市	20,000	10,000	50	校舎見学会
市内遺跡 発掘調査等	志摩市	8,025	4,000	38	講演会・現地解説会
重無民 上野天神祭のダンジリ行事 民俗文化財伝承・活用等	上野文化美術保存会	80,002	40,000	1,024	ウォーキングイベ ント、お披露目会・体験 会
重文 木造観世音菩薩坐像・勢至菩 薩坐像 美術工芸品防災施設	宗教法人 西光寺	17,280	8,000	1,000	パンフレット作成
県 春日神社拝殿 保存修理	宗教法人 春日神社	50,000	25,000	135	現場見学会
市内埋蔵文化財 地域の特色ある埋 蔵文化財活用	名張市	41,477	20,000	110	体験ツアー
特天 オオサンショウウオ 天然記 念物緊急調査	名張市	60,204	30,000	546	学習会・餌やり体験
活用事業	39	2,112,343	981,000	16,971	

3 民間団体による助成

民間団体による文化財保護助成事業として、市町の推薦を受けた文化財保護事業について推薦を行い、下記の団体が助成を受けた。

助成団体	助成先	所在市 町	助成額	事業内容
(公財) 明治安田クオリティオブ ライフ文化財団	大淀東区自治会	明和町	220,000	大淀祇園祭の大幡を掲示する杉 丸太の新調
(財) 沖永文化振興財団	池山かんこ踊り保存会	亀山市	175,000	用具（大締太鼓）の修理

IV 文化財の管理・普及

1 登録審査

(1) 銃砲刀剣類

審査日：平成 29 年 5 月 9 日、7 月 18 日、9 月 12 日、11 月 14 日、平成 30 年 1 月 30 日

実施場所：県庁舎会議室（津市桜橋）

審査委員：

小川保生（日本美術刀剣保存協会三重県支部理事）
 後藤静一（日本美術刀剣保存協会三重県支部）
 中西 勤（日本美術刀剣保存協会三重県支部理事）
 早川繁一（日本美術刀剣保存協会三重県支部長）
 東世古晃弘（日本美術刀剣保存協会三重県支部理事）
 福井款彦（日本美術刀剣保存協会三重県支部副支部長）

	刀剣類	銃砲類	合計
新規登録数	233 件	22 件	255 件
登録証再交付数	35 件	2 件	37 件
製作承認件数	2 件	—	2 件
所有者変更数	782 件	72 件	854 件
登録証返納数 (輸出返納含む)	77 件	4 件	81 件

(2) 天然記念物 紀州犬

審査日：平成 29 年 5 月 21 日

実施場所：結城神社境内（津市藤方）

審査員：岸川徳成（社団法人日本犬保存会審査員・同三重支部支部長）

木村二三利（社団法人日本犬保存会審査員・同三重支部副支部長）

森本鉄男（社団法人日本犬保存会審査補助員・同三重支部会員）

登録番号	犬名	性別	登録日	所有者住所
824	白眉乃竜鵬	雄	H29.6.1	津市
825	天空の三山	雄	H29.6.1	鈴鹿市
826	武菊	雌	H29.6.1	津市
827	幸子	雌	H29.6.1	鈴鹿市

登録番号	犬名	性別	登録日	所有者住所
828	回天	雄	H29.6.1	南牟婁郡
829	紀州乃雄	雄	H29.6.1	桑名市
830	桔梗姫	雌	H29.6.1	桑名市

(3) 天然記念物 日本鶏

審査日：平成 29 年 6 月 10 日

実施場所：斎宮歴史博物館

審査員：

富田靖男（元三重県立博物館長）
 西川祥一（日本家禽会三重県支部長、
 天然記念物三重県五鶏保存会会長）
 佐々木健二（三重県農林水産部畜産課）

登録番号	鶏種	内種	性別	登録日	所有者住所
1006	河内奴鶏	五色種	雄	H29.7.1	度会郡玉城町
1007	小国鶏	白色種	番	H29.7.1	津市
1008	烏骨鶏	白色種	番	H29.7.1	津市

2 文化財の管理

(1) 文化財保護にかかる会議

① 三重県文化財保護連絡会議

県内における指定文化財及び埋蔵文化財などの保護行政を一層充実させるため、市町教育委員会文化財保護行政担当者との打ち合わせ及び協議を実施した。

回	日時	開催場所	内容
第 1 回	尾鷲・熊野	4 月 21 日（金）13:30～16:30	平成 29 年度文化財保護事業の概要、指定文化財に関する事務手続き等、文化財パトロールの実施
	北勢・中勢・伊賀	4 月 25 日（火）13:30～16:30	
	松阪・南勢・志摩	4 月 26 日（水）13:30～16:30	
第 2 回	11 月 22 日（水）9:30～12:00	三重県総合博物館	事業の現状と課題、連絡事項等

② 三重県文化財保護指導委員会議

県内における指定文化財及び埋蔵文化財などの保護行政を一層充実させるため、市町教育委員会文化財保護行政担当者、三重県文化財保護指導委員との打ち合わせ及び協議を実施した。

地区	日時	開催場所	内容
尾鷲・熊野	4月21日(金) 13:30~16:30	県熊野庁舎	平成29年度文化財保護事業の概要、指定文化財に関する事務手続き等、文化財パトロールの実施
北勢・中勢・伊賀	4月25日(火) 13:30~16:30	県鈴鹿庁舎	
松阪・南勢・志摩	4月26日(水) 13:30~16:30	県伊勢庁舎	

③ オオサンショウウオ保護連絡会議

オオサンショウウオの保護管理について、県関係部局および関係市町に周知するとともに、研究者からの助言を得て保護管理についての情報を共有するため、会議を開催した。

日 時	平成30年2月16日(金) 13:30~17:00	場 所	名張市郷土資料館3階講座室
講 演	「鳥取県内におけるオオサンショウウオ生息状況と保護の取り組みについて」 NPO 法人日本ハンザキ研究所理事長 岡田 純		
報 告 事 項	○オオサンショウウオ保全対策について 三重県伊賀建設事務所(流域課・保全課)、伊賀市建設部建設2課 独立行政法人水資源機構川上ダム建設所、国土交通省近畿地方整備局木津川上流河川事務所 奈良県宇陀土木事務所、伊賀市教育委員会 ○オオサンショウウオ緊急調査について 名張市教育委員会・宇陀市教育委員会		
助 言 者	松井正文(京都大学教授)、富田靖男(元三重県立博物館長) 佐藤孝則(天理大学おやさと研究所 教授)、清水善吉(三重自然誌の会事務局) 松月茂明(元日本サンショウウオセンター学芸員)		

④ ネコギギ保護連絡会議

ネコギギの保護管理について、県関係部局および関係市町に周知するとともに、研究者からの助言を得て保護管理についての情報共有を行うため、会議を開催した。

日 時	平成30年2月22日(木) 13:30~17:00	場 所	三重県伊勢庁舎 第401会議室
講 演	「員弁川水系における天然記念物ネコギギ個体群の増強に向けた取り組み」 いなべ市教育委員会事務局 生涯学習課 後藤 健宏		
事 例 報 告	○現状変更等事例報告 桑名建設事務所、鈴鹿建設事務所、津建設事務所、松阪建設事務所、伊勢建設事務所 伊勢農林水産事務所、国土交通省紀勢国道事務所、中日本高速道路株式会社 ○亀山市ネコギギ再生事業について 亀山市市民文化部文化振興局まちなみ文化財室 ○平成29年度ネコギギ生息状況調査報告 三重県教育委員会		
助 言 者	森誠一(岐阜経済大学教授)、渡辺勝敏(京都大学大学院准教授)、 佐川志朗(兵庫県立大学大学院准教授)、田代喬(名古屋大学減災連携研究センター准教授)		

⑤ オオダイガハラサンショウウオ学習会

オオダイガハラサンショウウオの保護について関係者の理解を深めるため、三重森林管理署、三重県農林水産部、三重県で協働して、学習会を開催した。



日 時	平成29年7月11日(火)12:30~14:30	場 所	大杉谷国有林千尋峠(多気郡大台町大杉)
内 容	オオダイガハラサンショウウオの生態について調査するとともに、幼生個体の現地視察を実施した。		

(2) 文化財パトロール

県内における指定文化財及び埋蔵文化財包蔵地の管理、保存状況を把握し、適切な処置を講じて文化財保護に万全を期するために、三重県文化財保護指導委員（50名）を任命して巡視活動等を行っている。巡視活動の報告は、随時、社会教育・文化財保護課に行われ、当課では写しを当該市町教育委員会に送付し、行政対応を行っている。

担当地区	保護指導委員名	担当分野	市町名	実施件数
県内全域	嶋村明彦・大城哲也	建造物		
	清水善吉・山野直也・中野環	天然記念物		
北勢	蒔田英彦・久安典之・大森尚子	建造物	桑名市	12
			いなべ市	3
			木曽岬町	0
	松本覚・渡辺尚登・浅尾悟	埋蔵文化財	東員町	0
			四日市市	6
			菰野町	3
			朝日町	2
	川添護・桐生定巳	天然記念物	川越町	0
			鈴鹿市	11
			亀山市	8
中勢	山田幸三	建造物	津市	15
	瀧川和也・藤田直信	彫刻	松阪市	17
	浅生悦生・林和範・木野本和之・西田尚史・増田安生・奥義次・縣拓也	埋蔵文化財	多気町	3
			明和町	1
西川浩之・中優・川岸悟・高松隆吉・杉澤学	天然記念物	大台町	9	
南勢	松月久和・東原達也	建造物	伊勢市	3
	藤田直信	彫刻	鳥羽市	6
	奥義次・縣拓也・村上喜雄・山本達也・北畠充生	埋蔵文化財	玉城町	0
			度会町	6
			南伊勢町	1
	中優	天然記念物	大紀町	11
志摩市			3	
伊賀	滝井利彰・岩見勝由	建造物	伊賀市	37
	瀧川和也	彫刻		
	寺岡光三・大花健生・谷戸実	埋蔵文化財	名張市	4
	杉澤学	天然記念物		
紀勢・東紀州	宮原良雄	建造物	尾鷲市	8
	岩本直樹・福村直昭	建造物・彫刻	紀北町	47
	東浩成・福村直人	埋蔵文化財	熊野市	27
	山本和彦・更屋好年	天然記念物	御浜町	3
	高須清教・西村功・植松元夫・東公雄・向井弘晏	熊野参詣道	紀宝町	5

(3) 発掘調査届等

	92条	93条										94条										99条	合計						
		道路	住宅	個人住宅	工場	店舗	住宅兼工場・店舗	その他建物	宅地造成	公園造成	ガス・電気・水道等	土砂採取	農業関係	その他開発	計	道路	河川	港湾・ダム	学校	住居	その他建物			公園造成	ガス・電気・水道等	農業基盤・農業関係	その他開発	遺跡整備	計
木曽岬町														0													0	0	0
いなべ市			9	1			1				23		3	37	1								3		1		5	0	42
東員町								1					1	2													0	0	2
桑名市		5	40			1	7	5			28			86	2			1		2		10		4		19	1	106	
川越町														0													0	0	0
朝町町										1			1														0	0	1
孤野町										2		1	3														0	0	3
四市市		17	34				2	8	2		29		4	96								1	7		1	1	10	2	108
鈴鹿市		6	55	2	3		13	3			20	1	28	131	2						3		5		1		11	10	152
亀山市		4	65	1	1		4	7			20	4	20	126	3						3		5		3		14	1	141
津市		10	62		4		1				108	1	26	212	3			1		2		49	1	5		61	0	273	
松阪市	1	2	115	1	6			4			111		28	268				2				1	4		7		14	2	284
明和町			5								1		10	16			1										1	12	29
多気町											12		16	28													0	0	28
玉城町		4						2			6		1	13	3												3	2	18
大台町											1			1													0	0	1
度会町											7		2	9													0	0	9
伊勢市			10			1	4	1			28		3	47									1				1	0	48
鳥羽市											2			2													0	0	2
志摩市	2		3				1				18		10	34	1								1				2	0	36
南伊勢町														0					1	1							2	0	2
大紀町							2				8		4	14													0	0	14
紀北町														0													0	0	0
尾鷲市														0													0	0	0
熊野市													2	2													0	0	2
御浜町														0													0	0	0
紀宝町			3											3													0	0	3
伊賀市	1	1	1		1			1					6	11	1									3			4	1	16
名張市		1									3			4													0	0	4
三重県														0	8	5						3		1	8	7	32	4	36
国・大学	0													0													0	0	0
計	0	5	49	402	5	16	1	35	32	2	428	5	1	165	1146	24	5	0	5	1	14	2	86	9	32	1	179	35	1357

(4) 埋蔵文化財の発見

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	通知
弥生土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器、山茶椀、白磁、製塩土器、土製品、石器	17	多気郡明和町竹川字中垣内	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H29.4.5	H29.4.5
土師器、須恵器、陶器、近世瓦	1	多気郡明和町大字斎宮字下園	史跡斎宮跡	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	H29.4.7	H29.4.7
土師器、須恵器	4	多気郡明和町大字斎宮字篠林	史跡斎宮跡	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	H29.4.7	H29.4.7
土師器、山茶椀、陶器	2	多気郡明和町大字斎宮字笛川	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H29.4.7	H29.4.7
灰釉陶器、緑釉陶器、土師器	1	多気郡明和町大字斎宮字下園地内	史跡斎宮跡	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	H29.4.7	H29.4.7
陶磁器、土師器	1	多気郡明和町大字斎宮字牛葉	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H29.4.7	H29.4.7
土師器	1	多気郡明和町斎宮字染殿	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H29.4.11	H29.4.11
土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器、山茶椀、青磁、製塩土器、石器、鉄製品	28	多気郡明和町大字斎宮字西前沖	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H29.4.11	H29.4.11
土師器、須恵器、緑釉陶器、製塩土器、陶器	25	多気郡明和町大字斎宮字鈴池	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H29.4.11	H29.4.11
土師器、須恵器	1	多気郡明和町大字斎宮字篠林	史跡斎宮跡	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	H29.4.11	H29.4.11
土師器	1	多気郡明和町大字竹川字南裏	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H29.4.11	H29.4.11
近世陶器、石製品	1	多気郡明和町大字竹川字中垣内	史跡斎宮跡	三重県	三重県知事	斎宮歴史博物館	H29.4.11	H29.4.11
土師器、陶器	1	多気郡明和町大字斎宮字広頭地内	史跡斎宮跡	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	H29.5.10	H29.5.10
土師器	1	多気郡明和町大字斎宮	史跡斎宮跡	三重県	明和町長	斎宮歴史博物館	H29.5.19	H29.5.19
土師器、陶磁器等	1	津市芸濃町林	林上新田遺跡	三重県	個人	三重県埋蔵文化財センター	H29.8.3	H29.8.3
陶器、磁器、土師器、瓦、金属製品	11	伊賀市上野東町	上野城下町遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H29.9.6	H29.9.6
縄文土器、土師器、須恵器、陶器、木製品、石器	26	松阪市嬉野釜生田町	弥五郎垣内遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H29.10.13	H29.10.13
土師器、須恵器、陶器	17	明和町上野・斎宮	安養寺跡、古堀遺跡、北野遺跡、露越遺跡	三重県	明和町長	三重県埋蔵文化財センター	H29.11.14	H29.11.17
縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、石製品等	22	津市安濃町内多	小ブケ遺跡	三重県	津市長	三重県埋蔵文化財センター	H29.11.22	H29.11.22
須恵器、土師器、陶器	1	四日市市北山町	北山C遺跡	三重県	中本高速道路株式会社	三重県埋蔵文化財センター	H29.12.7	H29.12.7
土師器、陶器等	3	いなべ市北勢町田辺字北山	田辺城跡	三重県	国土交通省	三重県埋蔵文化財センター	H30.1.11	H30.1.11
土師器、陶器、磁器、瓦、木製品	8	松阪市本町	松坂城下町遺跡	三重県	三重県知事	三重県埋蔵文化財センター	H30.2.15	H30.2.15

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	通知
縄文土器、土師器、須恵器、陶器、磁器、瓦、鉄製品、木製品、石器	195	松阪市立田町	中坪遺跡	三重県	朝見上土地改良区理事長	三重県埋蔵文化財センター	H30.2.20	H30.2.20
土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、陶器、白磁	12	度会郡玉城町山岡	上黒土遺跡	三重県	玉城町長	三重県埋蔵文化財センター	H30.3.8	H30.3.8
土師器	1	多気郡明和町上野	北野遺跡・曾祢崎遺跡	三重県	明和町長	三重県埋蔵文化財センター	H30.3.14	H30.3.14
縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、白磁、土製品、石製品、鉄製品	7	多気郡明和町竹川字中垣内	史跡斎宮跡	三重県	個人	斎宮歴史博物館	H30.3.20	H30.3.20

(5) 埋蔵物の文化財認定

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	認定	認定者
野台城跡・野台古墳群出土遺物 弥生土器片・土師器片・須恵器片・石器・陶器片	3	伊賀市平田字野墓	野台城跡・野台古墳群	伊賀市教育委員会教育長	有限会社ベストパートナー京都	伊賀市教育委員会	H29.3.14	H29.4.11	三重県教育委員会
伊勢国府跡（長者屋敷遺跡第35次）発掘調査出土遺物 丸瓦、平瓦、山茶碗	115	鈴鹿市広瀬町字荒子	伊勢国府跡（長者屋敷遺跡第35次）	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H29.3.27	H29.4.17	三重県教育委員会
上野遺跡出土遺物 須恵器・土師器・陶器・金属器・石製品等	25	四日市市大字西阿倉川字上野	上野遺跡	四日市市教育委員会教育長	東洋地所株式会社	四日市市教育委員会社会教育課文化財整理作業所	H29.4.3	H29.4.17	三重県教育委員会
磐城山遺跡第9次出土遺物 縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、白磁、石器、鉄器	69	鈴鹿市木田町	磐城山遺跡第9次	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H29.3.31	H29.4.17	三重県教育委員会
照光寺遺跡出土遺物 縄文土器 石器	11	いなべ市大安町石樽南地内	照光寺遺跡	いなべ市教育委員会教育長	員弁土地開発公社	いなべ市教育委員会	H29.3.31	H29.4.24	三重県教育委員会
鈴鹿関跡 土師器・陶器・磁器等	22	亀山市関町木崎字宮之前	鈴鹿関跡	亀山市教育委員会教育長	亀山市長	亀山市教育委員会	H29.4.12	H29.4.24	三重県教育委員会
カンノ畑遺跡範囲確認調査出土遺物 土器	1	志摩市阿児町鶴方字瀬戸ノ田	カンノ畑遺跡	志摩市教育委員会教育長	個人	志摩市教育委員会生涯学習スポーツ課	H29.4.12	H29.5.22	三重県教育委員会
久保垣内遺跡（H28-1次）出土遺物 土師器、須恵器、陶器	1	津市芸濃町楠原字久保垣内	久保垣内遺跡	津市教育委員会教育長	津市長	津市埋蔵文化財センター	H29.5.1	H29.6.19	三重県教育委員会
清水北浦遺跡（H29-1次）出土遺物 土師器	1	津市安濃町太田	清水北浦遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H29.7.12	H29.7.24	三重県教育委員会

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	認定	認定者
片野遺跡（H29-1次）出土遺物 弥生土器、土師器、須恵器	1	津市一志町片野字北浦	片野遺跡	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H29.7.12	H29.7.31	三重県教育委員会
尾平宮前遺跡出土遺物 須恵器 土師器	5	四日市市尾平町	尾平宮前遺跡	四日市市教育委員会教育長	個人	四日市市教育委員会社会教育課文化財整理作業所	H29.7.31	H29.8.15	三重県教育委員会
塚越貝塚範囲確認調査出土遺物 土器	1	志摩市大王町船越	塚越貝塚	志摩市教育委員会教育長	個人	志摩市教育委員会生涯学習スポーツ課	H29.7.27	H29.8.29	三重県教育委員会
庄田遺跡出土遺物 中世の瓦片	2	名張市薦原	庄田遺跡	名張市教育委員会教育長	個人	名張市教育委員会（名張市郷土資料館）	H29.8.21	H29.9.7	三重県教育委員会
朝日町縄生五福田出土遺物 須恵器・土師器・山茶碗等	1	朝日町縄生字五福田		朝日町教育委員会教育長	個人	朝日町教育委員会	H29.8.29	H29.9.7	三重県教育委員会
萱町遺跡 立会調査出土遺物 弥生土器・土師器	1	鈴鹿市神戸8丁目	萱町遺跡	鈴鹿市長	鈴鹿市長	鈴鹿市考古博物館	H29.8.16	H29.9.26	三重県教育委員会
須賀遺跡（第7次）出土遺物 弥生土器・土師器・須恵器・灰釉陶器・山茶碗・陶器・磁器・石器・玉類・鉄滓・土製品・瓦	14	鈴鹿市須賀1丁目	須賀遺跡（第7次）	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H29.9.7	H29.9.26	三重県教育委員会
岡田南遺跡（第4次）発掘調査出土遺物 弥生土器・土師器・常滑焼等	2	鈴鹿市岡田1丁目	岡田南遺跡第4次	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H29.9.21	H29.10.2	三重県教育委員会
大下遺跡（範囲確認調査）出土遺物 土師器	1	鈴鹿市稲生町	大下遺跡（範囲確認調査）	鈴鹿市長	鈴鹿市長	鈴鹿市考古博物館	H29.10.13	H29.10.27	三重県教育委員会
須賀遺跡（立会調査）出土物 弥生土器、土師器、須恵器	1	鈴鹿市須賀1丁目	須賀遺跡（立会調査）	鈴鹿市長	株式会社イケダエステート	鈴鹿市考古博物館	H29.10.16	H29.10.27	三重県教育委員会
寺山遺跡（範囲確認調査）出土遺物 土師器・埴輪	1	鈴鹿市高岡町字寺山	寺山遺跡（範囲確認調査）	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H29.10.13	H29.10.27	三重県教育委員会
西ノ岡B遺跡（範囲確認調査）出土遺物 土師器、須恵器、山茶碗	1	鈴鹿市高岡町	西ノ岡B遺跡（範囲確認調査）	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H29.10.13	H29.10.27	三重県教育委員会
萱町遺跡（第4次）出土遺物 弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗、陶器、磁器、石器	3	鈴鹿市神戸8丁目	萱町遺跡（第4次）	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H29.10.30	H29.11.13	三重県教育委員会

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	認定	認定者
一反通遺跡（範囲確認調査）発掘調査出土遺物 石器、弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗等	10	鈴鹿市上野町老反通	一反通遺跡 H29.度範囲確認調査	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H29.11.1	H29.11.13	三重県教育委員会
土師南方遺跡範囲確認調査 出土遺物 土師器	1	鈴鹿市土師町	土師南方遺跡 範囲確認調査	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H29.11.14	H29.12.6	三重県教育委員会
葛西川A遺跡範囲確認調査出土遺物 石器	1	志摩市阿児町鶴方	葛西川A遺跡	志摩市教育委員会教育長	個人	志摩市教育委員会 生涯学習スポーツ課	H29.11.15	H29.12.12	三重県教育委員会
横谷遺跡出土遺物 土師器・須恵器・石器など	26	四日市市西坂部町字横谷	横谷遺跡	四日市市教育委員会教育長	国土交通省	四日市市教育委員会 社会教育課 文化財整理作業所	H29.11.28	H29.12.12	三重県教育委員会
鈴鹿関跡出土遺物（丸瓦、平瓦、土師器、須恵器、土器等）	132	亀山市関町新所地内	鈴鹿関跡	亀山市教育委員会教育長	亀山市長	亀山市教育委員会	H29.12.6	H29.12.22	三重県教育委員会
伊勢国府跡（長者屋敷遺跡第36次）発掘調査出土遺物 平瓦、陶器、石版	1	鈴鹿市広瀬町字中起、広瀬町字荒子	伊勢国府跡（長者屋敷遺跡 第36次）	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H29.12.4	H29.12.22	三重県教育委員会
殿村大垣内遺跡（H29-1次）出土遺物土師器、須恵器、山茶碗	2	津市殿村	殿村大垣内遺跡（H29-1次）	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H29.12.6	H29.12.22	三重県教育委員会
坊海道遺跡出土遺物 土師器・須恵器・陶磁器 等	1	松阪市大塚町	坊海道遺跡	松阪市教育委員会教育長	個人	松阪市教育委員会事務局	H29.11.30	H29.12.22	三重県教育委員会
坊海道遺跡出土遺物 山茶碗 等	1	松阪市大塚町	坊海道遺跡	松阪市教育委員会教育長	個人	松阪市教育委員会事務局	H29.11.30	H29.12.22	三重県教育委員会
浅堀木遺跡出土遺物 土師器・弥生土器・須恵器 等	8	松阪市上川町	浅堀木遺跡	松阪市教育委員会教育長	個人	松阪市教育委員会事務局	H29.11.30	H29.12.22	三重県教育委員会
茶屋前遺跡出土遺物 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器等	3	松阪市八重田町	茶屋前遺跡	松阪市教育委員会教育長	社会福祉法人まつさか福祉会	松阪市教育委員会事務局	H29.11.30	H29.12.22	三重県教育委員会
新々田遺跡出土遺物 陶磁器・土師器 等	3	松阪市嬉野中川町	新々田遺跡	松阪市教育委員会教育長	個人	松阪市教育委員会事務局	H29.11.30	H29.12.22	三重県教育委員会
小野江・碁目遺跡出土遺物 陶磁器・土師器・瓦等	16	松阪市小野江町	小野江・碁目遺跡	松阪市教育委員会教育長	松阪市長	松阪市教育委員会事務局	H29.11.30	H29.12.22	三重県教育委員会
天王垣内遺跡出土遺物 土師器 等	1	松阪市嬉野須賀町	天王垣内遺跡	松阪市教育委員会教育長	個人	松阪市教育委員会事務局	H29.11.30	H29.12.22	三重県教育委員会

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	認定	認定者
前切遺跡出土遺物 陶磁器・土師器 等	1	松阪市飯 高町富永	前切遺跡	松阪市教育 委員会教育 長	個人	松阪市教育 委員会事務局	H29.11.30	H29.12.22	三重県教 育委員会
松坂城下町遺跡出土 遺物 陶磁器 等	1	松阪市西 町	松坂城下町 遺跡	松阪市教育 委員会教育 長	個人	松阪市教育 委員会事務局	H29.11.30	H29.12.22	三重県教 育委員会
松坂城下町遺跡出土 遺物 土師器・須恵 器 等	1	松阪市殿 町	松坂城下町 遺跡	松阪市教育 委員会教育 長	松阪市長	松阪市教育 委員会事務局	H29.11.30	H29.12.22	三重県教 育委員会
松坂城下町遺跡出土 遺物 陶磁器・土師 器・瓦 等	11	松阪市新 町	松坂城下町 遺跡	松阪市教育 委員会教育 長	宗教法人樹 敬寺	松阪市教育 委員会事務局	H29.11.30	H29.12.22	三重県教 育委員会
浅堀木遺跡出土遺物 陶磁器・土師器・弥 生土器 等	1	松阪市上 川町	浅堀木遺跡	松阪市教育 委員会教育 長	個人	松阪市教育 委員会事務局	H29.11.30	H29.12.22	三重県教 育委員会
梅田遺跡（第2次） 出土遺物 縄文土 器、弥生土器、土師 器	1	鈴鹿市国 府町	梅田遺跡 （第2次）	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古 博物館	H29.12.20	H30.1.12	三重県教 育委員会
神戸遺跡出土遺物 土師器・弥生土器 等	13	松阪市下 村町	神戸遺跡	松阪市教育 委員会教育 長	個人	松阪市教育 委員会事務局	H29.11.30	H29.12.22	三重県教 育委員会
松坂城下町遺跡出土 遺物 陶磁器・瓦 等	1	松阪市魚 町・新座町	松坂城下町 遺跡	松阪市教育 委員会教育 長	松阪証券株 式会社	松阪市教育 委員会事務局	H29.11.30	H29.12.22	三重県教 育委員会
片野遺跡（H29-1次 ②）出土遺物 土 師器、須恵器	1	津市一志 町片野字 北浦	片野遺跡 （H29-1次 ②）	津市教育委 員会教育長	個人	津市埋蔵文 化財センタ ー	H29.12.11	H29.12.22	三重県教 育委員会
新々田遺跡出土遺物 陶磁器・土師器 等	32	松阪市嬉 野中川町	新々田遺跡	松阪市教育 委員会教育 長	個人	松阪市教育 委員会事務局	H30.1.11	H30.1.22	三重県教 育委員会
北垣内遺跡（H29-1 次）出土遺物土師器、 土錘	1	津市高茶 屋一丁目	北垣内遺跡 （H29-1 次）	津市教育委 員会教育長	個人	津市埋蔵文 化財センタ ー	H30.1.15	H30.1.26	三重県教 育委員会
間無事古墳・尾崎古 墳群出土遺物 須恵 器・土師器・鉄製品 等	6	度会郡玉 城町世古、 井倉	間無事古 墳・尾崎古 墳群	玉城町教育 委員会教育 長	三交不動産 株式会社	玉城町教育 委員会	H30.1.22	H30.2.20	三重県教 育委員会
小山中野遺跡 （H29-3次）出土遺 物 土師器	1	津市一志 町小山	小山中野遺 跡（H29-3 次）	津市教育委 員会教育長	個人	津市埋蔵文 化財センタ ー	H30.1.30	H30.2.20	三重県教 育委員会
戸木遺跡（H29-1次） 出土遺物 土師器	1	津市戸木 町字東出	戸木遺跡 （H29-1 次）	津市教育委 員会教育長	個人	津市埋蔵文 化財センタ ー	H30.2.2	H30.2.20	三重県教 育委員会
石薬師東遺跡（範囲 確認調査）出土遺物 埴輪片	1	鈴鹿市石 薬師町	石薬師東遺 跡（範囲確 認調査）	鈴鹿市長	三重県	鈴鹿市考古 博物館	H30.2.13	H30.2.28	三重県教 育委員会
国分東遺跡（工事立 会）出土遺物 土師 器、須恵器、瓦	1	鈴鹿市国 分町	国分東遺跡 （工事立 会）	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古 博物館	H30.2.16	H30.3.9	三重県教 育委員会

物件名	箱数	発見場所	遺跡名	発見者	土地所有者	保管場所	発見	認定	認定者
津城跡 (H29-8次) 出土遺物 土師器、 陶器、磁器、瓦	1	津市丸之内	津城跡 (H29-8次)	津市教育委員会教育長	個人	津市埋蔵文化財センター	H29.11.24	H30.3.14	三重県教育委員会
山ノ原遺跡 (工事立 会) 出土遺物 土師 器、山茶碗	1	鈴鹿市上田町	山ノ原遺跡 (工事立 会)	鈴鹿市長	個人	鈴鹿市考古博物館	H30.3.1	H30.3.20	三重県教育委員会

(6) 出土文化財の譲与

譲与	申請者	譲与文化財の名称	箱数	発見場所	遺跡名	発見
H29.5.8	津市教育委員会教育長	土師器	1	津市安濃町川西	世古遺跡	H28.8.8
H29.5.8	津市教育委員会教育長	土師器、須恵器	1	津市一志町片野字北浦	片野遺跡	H28.8.1
H29.8.24	津市教育委員会教育長	出土遺物 (陶器)	1	津市安濃町連部字ゆふけ	ゆふけ遺跡 (H27-1次 ③)	H28.11.22
H29.9.26	鈴鹿市長	土師器・須恵器	1	鈴鹿市須賀1丁目	須賀遺跡 (範囲確認調査)	H29.1.25
H29.10.10	鈴鹿市長	縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、青磁、白磁、木製品、古瀬戸、常滑焼、近世陶器、瓦、石製品、金属製品	74	鈴鹿市十宮4丁目	十宮古里遺跡 (第6次)	H29.2.6
H29.10.13	四日市市教育委員会教育長	土師器 陶器 金属器 石器等	25	四日市市大字西阿倉川字上野	上野遺跡	H29.4.3
H29.11.22	鈴鹿市長	丸瓦, 平瓦, 山茶碗	115	鈴鹿市広瀬町字荒子	伊勢国府跡 (長者屋敷遺跡第35次)	H29.3.27
H29.11.22	鈴鹿市長	縄文土器, 弥生土器, 土師器, 須恵器, 灰釉陶器, 山茶碗, 白磁, 石器, 鉄器	69	鈴鹿市木田町	磐城山遺跡 (第9次)	H29.3.31
H29.8.24	津市教育委員会教育長	出土遺物 (土師器、須恵器、山茶碗)	1	津市大里窪田町字中鷲	窪田遺跡	H28.10.31
H30.1.23	津市教育委員会教育長	出土遺物 (土師器、陶器、瓦)	1	津市丸之内	津城跡 (H28-11次)	H29.2.23
H30.2.22	津市教育委員会教育長	出土遺物 (土師器、須恵器、陶器)	1	津市芸濃町楠原字久保垣内	久保垣内遺跡 (H28-1次)	H29.5.1
H30.2.22	津市教育委員会教育長	出土遺物 (弥生土器、土師器、須恵器)	1	津市一志町片野字北浦	片野遺跡 (H29-1次)	H29.7.12
H30.2.22	津市教育委員会教育長	出土遺物 (土師器)	1	津市安濃町太田	清水北浦遺跡 (H29-1次)	H29.7.12

3 国・県指定文化財に関する諸届等

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までに申請等が行われた指定文化財に関する現状変更等の諸届の状況は下記のとおりである。なお、すでに許可を得ている現状変更に関する期間変更のみの申請及び所在場所変更のうち元の場所に復する場合は含んでいない。

(1) 国指定文化財

① 国宝・重要文化財

文化財名称	種別	現状変更		き損	修理	所有者変更	所在場所変更	合計
		国	県・市許可					
旧賓日館 本館ほか 2 棟	建造物			3	1			4
旧諸戸家住宅 洋館・和館	建造物			3	1			4
専修寺御影堂	建造物			1				1
猪田神社本殿	建造物			1				1
大村神社宝殿	建造物			1				1
町井家住宅 主屋及び書院	建造物			防災施設 機能低下 1				1
木造如来坐像（頭部快慶作）	彫刻				1			1
木造十一面観音立像（長快作）	彫刻			1	1			2
合計		0	0	11	4	0	0	14

② 民俗文化財

文化財名称		現状変更	き損	修理	所有者変更	所在場所変更	合計
伊勢湾・志摩半島・熊野灘の 漁労用具	有形民俗				1		1
合計					1		1

③ 史跡・名勝

文化財名称	種別	現状変更		滅失・き損	復旧	合計
		国	県・市許可			
久留倍官衙遺跡	史跡	2				2
伊勢国分寺跡	史跡	2				2
伊勢国府跡	史跡		3			3
王塚古墳	史跡		1			1
谷川土清旧宅	史跡			1		1
多気北畠氏城館跡	史跡		1			1
松坂城跡	史跡	2	2			4
阿坂城跡	史跡			1		1
斎宮跡	史跡	10	28			38
旧豊宮崎文庫	史跡	1				1

文化財名称	種別	現状変更		滅失・き損	復旧	合計
		国	県・市許可			
旧林崎文庫	史跡			1		1
赤木城跡及び田平子峠刑場跡	史跡		2			2
熊野三山	史跡	1				1
上野城跡	史跡		6			6
旧崇広堂	史跡			1		1
伊賀国分寺跡	史跡		1			1
城之越遺跡	名勝・史跡			1		1
美旗古墳群	史跡		2			2
夏見廃寺跡	史跡		1			1
旧諸戸氏庭園	名勝			1	1	2
諸戸氏庭園	名勝	2				2
北畠氏城館跡庭園 多気北畠氏城館跡	名勝・史跡		2			2
二見浦	名勝			4	1	5
赤目の峡谷	名勝		2	1		3
合計		20	51	11	2	84

④ 天然記念物

文化財名称	現状変更		滅失・き損	復旧	合計
	国	県・市許可			
カモシカ	1		3		4
オオサンショウウオ	12	2	3		16
ネコギギ	26	7	1		29
ヤマネ		4			3
西阿倉川アイナシ自生地	1				1
熊野の鬼ヶ城 附 獅子巖		2			1
田光のシデコブシ及び湿地植物群落	1				1
イイジマムシクイ		1			
多度のイヌナシ自生地			1		1
合計	41	7	8		56

(2) 県指定文化財

① 有形文化財

文化財名称	種別	現状変更	き損	修理	所有者変更	所在場所変更	合計
旧諸戸家住宅（六華苑） 一番蔵ほか5棟	建造物		1	1			2
亀山城本丸東南隅櫓	建造物		1	1			2
御城番屋敷 土蔵	建造物		1				1
旧小津家住宅	建造物			1			1
旧三重県第三尋常中学校校舎	建造物		1	1			2
入交家住宅主屋ほか3棟	建造物		2	1			3
旧小田小学校本館	建造物		2	1			3
石造宝塔（伊賀市 来迎寺）	建造物		1				1
紙本著色長谷川等伯筆四季山水図屏風 6曲1双	絵画			1			1
東条1号墳出土品 員数 551点のうち1点（大刀）	考古資料		1	1			2
酒井神社文書	古文書				1 (管理責任者選任)		1
合計		0	10	8	1	0	19

② 民俗文化財

文化財名称	種別	現状変更	き損	修理	所有者変更	所在場所変更	合計
参宮講看板 附たわらや看板	有形民俗					1	1
合計						1	1

③ 史跡・名勝

文化財名称	種別	現状変更		滅失 き損	復旧	所有者 変更	合計
		県	市許可				
桑名城跡	史跡	1	2				3
神戸城跡	史跡		1				1
旧亀山城多門楼	史跡	1					1
津城跡	史跡		2				2
大河内城跡	史跡	1		1			2
田丸城跡	史跡	3		1			4
旧越賀村郷蔵	史跡			1			1
靈山山頂遺跡	史跡	1					1
名張藤堂家邸跡	史跡	3		6			9
伊奈富神社庭園	名勝	1					1
合計		11	5	9			25

④ 天然記念物

文化財名称	現状変更		滅失 き損	復旧	所有者 変更	合計
	県	市許可				
嘉例川ヒメタイコウチ生息地	1					1
地藏大マツ	2					2
市木のイブキ	1					1
おおだいがはらさんしょうお	3	2				3
豊浦神社社叢	1					1
霊山のイヌツゲ及びアセビ群生地	1					1
ジュロウカンアオイ自生地		1				1
逆柳の甌穴	1					1
和具大島暖地性砂防植物群落	1					1
宇気比神社樹叢	1					1
大丹倉			1			1
徳司神社樹叢			1			1
合計	12	1	2			15

(5) 文化財防火デー

○関連防火運動実施状況（平成30年1月26日以外に実施したものも含む）

	防災訓練	消防設備点検	防災指導	広報活動等
県	2	2	2	2
市	13	15	14	28
町	14	8	10	15
計	29	25	26	45

(6) 文化財保護の組織（平成29年4月1日現在）

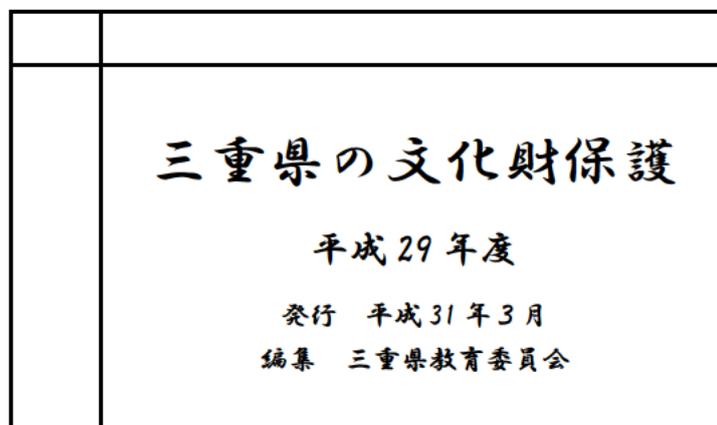
社会教育・文化財保護課 課長 山本寛二

有形文化財班

班長 伊藤 裕偉
 主幹（班長代理） 鈴木 昭子
 主幹 西村 美幸
 主査 上田 克彦
 主査 角正 淳子

記念物・民俗文化財班

班長 竹田 憲治
 主幹（班長代理） 小濱 学
 主幹 新名 強
 主任 高松 雅文
 主任 櫻井 拓馬
 主任 亀井 勇希



三重県内 国・県指定文化財等文化財数

平成 30 年 3 月 31 日現在

種別		国	県	計
(有形文化財) 重要文化財	建造物（内、国宝 2）	25	44	69
	絵画	19	43	62
	彫刻	67	112	179
	工芸品	18	60	78
	書跡・典籍・古文書（内、国宝文書 3）	45	57	102
	考古資料(内、国宝 1)	10	31	41
	歴史資料	4	10	14
	小計	188	357	545
文化財 無形	工芸技術	1	1	2
	芸能	0	1	1
	小計	1	2	3
文化財 民俗	無形民俗文化財	10	35	45
	有形民俗文化財	1	25	26
	小計	11	60	71
記念物	特別史跡	1	－	1
	特別天然記念物	2	－	2
	特別名勝及び天然記念物	1	－	1
	史跡	36	71	107
	史跡及び名勝	0	3	3
	史跡及び天然記念物	0	0	0
	名勝	6	8	14
	名勝及び史跡	1	0	1
	名勝及び天然記念物	0	1	1
	天然記念物（地域を定めず）	15	4	19
	天然記念物	21	78	99
	天然記念物及び名勝	1	1	2
	小計	84	166	250
伝統的建造物群保存地区（選定）		1	－	1
文化財の保存技術（選定）		0	0	0
記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財（選択）		15	11	26
重要文化的景観（選定）		0	0	0
登録有形文化財		238	－	238
登録有形民俗文化財		1	－	1
登録記念物		1	－	1
小計		256	11	267
総計		540	596	1136
ふるさと文化財の森		4		4